

ThinkPad 240 ユーザーズ・リファレンス



ThinkPad 240 ユーザーズ・リファレンス

このたびは IBM ThinkPad 240 をお買い上げいただき、 ありがとうございます

この ThinkPad は、お客様の技術的な要件と高度な要求にお応えできるように開発されました。モバイル・コンピューターのニーズにしっかりと取り組んだ製品を今後も作り続けるため、是非 ThinkPad のお客さま登録をしていただくようお願いいたします。



機能の特徴

高速プロセッサー

Intel® 高速プロセッサー搭載により、高速データ処理と最適なパフォーマンスを提供します。

大容量のハード・ディスク・ドライブ

大容量のハード・ディスク・ドライブが、お客様のさまざまなビジネス・ニーズにお応えします。

カラー液晶ディスプレイ (LCD)

TFT (thin-film transistor) 液晶ディスプレイは、鮮明でクリアな文字とグラフィックスを表示できます。

オーディオ

ThinkPad には、オーディオ機能が内蔵されており、サウンドの録音および再生が可能です。

オーディオ機能では、最高 16 ビット、ステレオで 48 KHz サンプリングでの録音と再生が可能です。

オーディオ機能の使用方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド

内蔵モデム

内蔵モデムにより、電話回線を介したデータ、ファックス、および音声の送受信が可能です。

ThinkPad モデム機能の使用方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド

拡張版トラックポイント

ThinkPad には、トラックポイントを押すだけで選択操作のできる拡張版トラックポイント機能が付いています。

トラックポイントの使用方法 ➡ 10ページの『トラックポイント』

PC カード・サポート

ThinkPad には、16 ビット PC カードまたは CardBus カードを取り付けられる、PC カード用スロットが 1 つ装備されています。

PC カードの取り付け方法 ➡ 65ページの『PC カードの取り付け』

本書について

本書には、IBM ThinkPad 240 を操作するために役立つ情報が記載されています。ThinkPad を実際にお使いになる前に、*ThinkPad 240 セットアップ・ガイド* および本書の第 1 章を必ずお読みください。

第 1 章
「ご使用の ThinkPad について」では、ThinkPad の基本機能を紹介します。

第 2 章
「ThinkPad の使用と機能の拡張」では、オプションの取り付け方法および ThinkPad の先端技術を取り入れた機能の使用方法について説明します。

第 3 章
「ThinkPad の保護」では、パスワードの使用、およびロック機能の使用について説明します。

第 4 章
「問題が起こったら」では、問題が起こった場合の対処方法について説明します。本章には、問題判別ガイドが含まれます。

第 5 章
「サービス体制」では、IBM のサポートおよびサービスについて記載されています。

付録A, 製品仕様 では、ThinkPad に関する機能と仕様について説明します。また、電源コードについての情報も記載されています。

付録B, 特記事項 には、本書およびご使用の ThinkPad に関する特記事項が記載されています。

「用語集」では、本書で使用する用語を説明します。また、本書の最後には「索引」が付いています。

— 本書で使われるアイコン —

以下は、ThinkPad で使用する各オペレーティング・システムに固有の手順や説明を表すためのものです。



Microsoft Windows 98 に関する情報。



Microsoft Windows NT に関する情報。



Microsoft Windows 95 に関する情報。

安全に正しくお使いいただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本製品を正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよび本製品への安全表示については、以下の絵表示をしています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

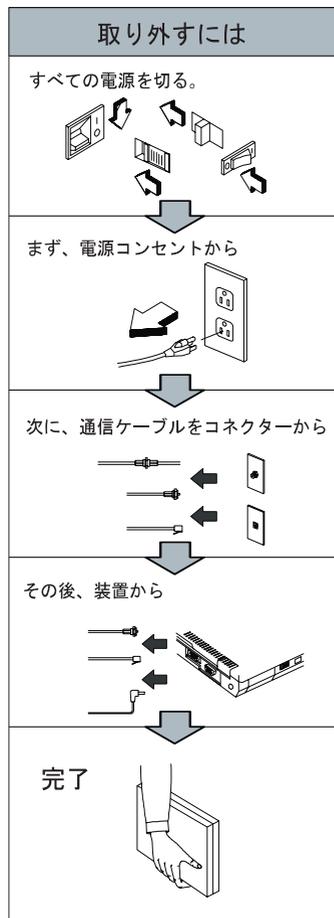
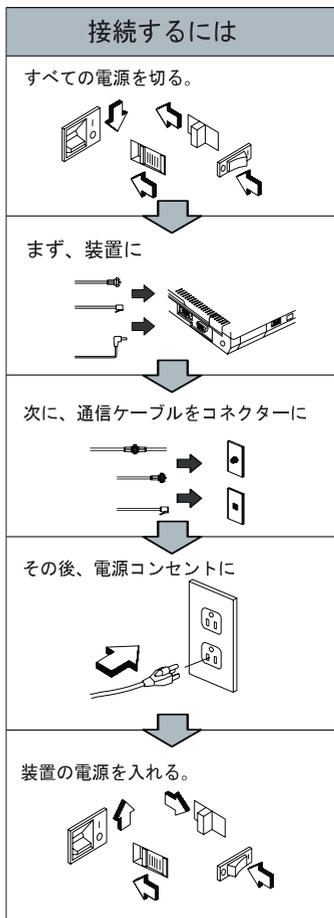
危険/注意ラベルの表示について

本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関する危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。このマニュアルに記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

危険

充電式バッテリー・バックを分解、焼却、ショートさせないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

危険

リチウム・バッテリーは、IBM 代理店または IBM 特約店でのみお求めになれます。これには、リチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、および廃棄が原因で爆発する危険性があります。バッテリーを水に浸したり、100°C 以上に熱したり、修理や分解をしないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

注意

液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に LCD を捨てないでください。LCD の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

LCD はガラス製なので、ThinkPad を乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。LCD が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で 15 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

機能の特徴	iv
本書について	v
安全に正しくお使いいただくために	vii
絵表示について	vii
危険/注意ラベルの表示について	vii
第1章 ご使用の ThinkPad について	1
各部の機能と名称	2
ThinkPad の正面図	2
ThinkPad の背面図	4
ThinkPad の底面図	6
システム状況インジケータ	7
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	19
システムのバックアップ	34
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	34
ディスク・ファクトリーの使用	35
ConfigSafe	35
最新のソフトウェアの入手先	36
バッテリー・パックの交換	37
大容量バッテリー・パックの取り付け	38
ThinkPad の取り扱い	39
次のことは行わないでください。	39
次のことを行うようにしてください。	40
ThinkPad のお手入れ	41
ThinkPad の携帯	41
バッテリーの寿命を長持ちさせるには	41
ThinkPad に適さない環境	42
第2章 ThinkPad の機能の拡張	43
トラックポイントのカスタマイズ	44
「プレス・セレクト」のページの使用	45

「感度」ページの使用	46
メモリーの増設	47
メモリーの増設方法	47
外付けマウス、またはキーボードの接続	53
マウスの接続	53
外付けキーボードとマウスの接続	54
トラックポイントの使用不可	56
外付け FDD ドライブの接続	57
外付け CD-ROM ドライブの接続	58
ThinkPad 240 への CD-ROM ドライブの接続	58
CD-ROM デバイス・ドライバーのインストール	59
外付けディスプレイの接続	59
ディスプレイの表示先の変更	61
表示モード	62
プリンターの接続	64
PC カードの取り付け	65
PC カードの取り外し	66
第3章 システムの保護	67
パスワードの使用	68
パスワードの入力	69
パスワードの設定	70
パスワードの変更と消去	71
ロック機能の使用	72
第4章 問題が起こったら	73
よく聞かれる質問とその答え	74
ヒントおよび制限事項	82
USB コネクタに関する考慮事項	82
外付けコンデンサー・マイクロホンの使用	82
問題判別ガイド	82
問題判別表	83
エラー・コードまたはメッセージ	84
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	87
入力装置の問題	88
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	90
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	92
インジケーターの問題	94

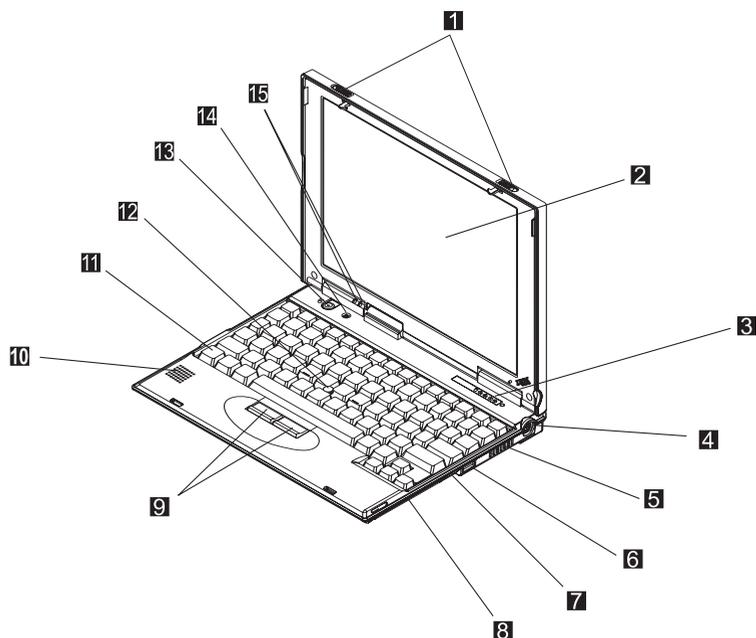
バッテリーの問題	94
HDD の問題	96
赤外線通信の問題	96
オーディオの問題	98
汎用シリアル・バス (USB) の問題	98
モデムの問題	99
PC カードの問題	101
プリンターの問題	102
外付けディスプレイの問題	103
その他のオプションの問題	105
ソフトウェアの問題	106
その他の問題	107
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	108
第5章 サービス体制	109
お使いの ThinkPad に関する情報	110
オプション・リスト	110
ID 番号の記録	110
問題記録用紙	111
カスタマー・サポートおよびサービス	112
付録A. 製品仕様	113
機構	113
仕様	114
付録B. 特記事項	117
特記事項	117
商標	117
西暦 2000 年対応および説明	118
用語集	119
索引	125

第1章 ご使用の ThinkPad について

各部の機能と名称	2
ThinkPad の正面図	2
ThinkPad の背面図	4
ThinkPad の底面図	6
システム状況インジケータ	7
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
トラックポイント	10
Fn キー	13
数値キーパッド	16
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	19
BIOS セットアップ・ユーティリティ (IBM BIOS Setup Utility)	19
ThinkPad 機能設定プログラム	32
システムのバックアップ	34
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	34
導入済みアプリケーション CD の使用	34
Product Recovery CD-ROM の使用	35
ディスケット・ファクトリーの使用	35
ConfigSafe	35
最新のソフトウェアの入手先	36
バッテリー・パックの交換	37
大容量バッテリー・パックの取り付け	38
ThinkPad の取り扱い	39
次のことは行わないでください。	39
次のことを行うようにしてください。	40
ThinkPad のお手入れ	41
ThinkPad の携帯	41
バッテリーの寿命を長持ちさせるには	41
ThinkPad に適さない環境	42

各部の機能と名称

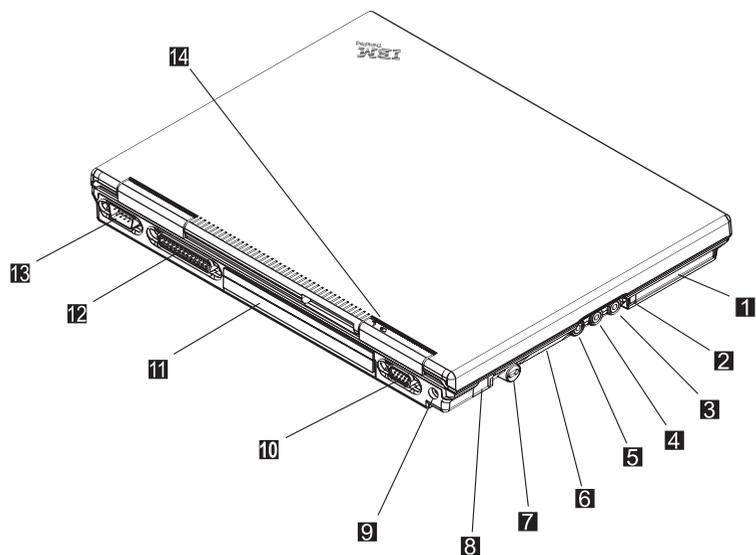
ThinkPad の正面図



- 1** LCD ラッチ。
これをスライドさせると、LCD が解放され、開くことができます。
- 2** カラー液晶ディスプレイ (LCD) パネル。
ThinkPad の出力を表示します。
- 3** インジケータ・パネル。
システム状況インジケータと関連する記号で ThinkPad の状態を表します。
- 4**  外付け入力装置コネクタ。
マウス、または外付けキーボードをここに接続します。
- 5** 通風孔。
CPU と他の内部コンポーネントを冷やす空気が通ります。この通風孔をふさがないようご注意ください。内部コンポーネントが過熱する場合があります。
- 6**  汎用シリアル・バス (USB) ・コネクタ。
USB 規格に対応するデバイスをここに接続できます。

- 7**  赤外線ポート。
赤外線通信機能をもつ他のデバイスと通信を行うことができます。
- 8** ハード・ディスク・ドライブ。
ThinkPad に内蔵されている大容量記憶装置です。
- 9** トラックポイント・ボタン。
トラックポイント **12** とともに使用し、マウス・ボタンと同様の働きをします。
内蔵スピーカー。
- 10**
- 11**  キー。
ファンクション・キーとともに使用して、 キー機能を実行します。
- 12** トラックポイント。
組み込み式のポインティング・デバイスで、マウスと同様の働きを提供します。
- 13**  電源スイッチ。
ThinkPad の電源をオンまたはオフにします。
- 14** 内蔵マイクロホン。
オーディオ対応のアプリケーション・プログラムを使用して、このマイクロホンから音声を ThinkPad に取り込むことができます。
- 15**  バッテリー状況ランプ。
バッテリー・パックの状況を表示します。
-  サスペンド・ランプ。
ThinkPad がサスペンド・モードにあるときにオンになります。

ThinkPad の背面図



- 1** **PC カード・スロット。**
PC カードを取り付けます。
- 2** **PC カード・イジェクト・ボタン。**
PC カード・スロットから PC カードを取り出すときに押します。
- 3**  **ヘッドホン・ジャック。**
直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、ステレオのヘッドホンまたは外付けスピーカーを接続します。
- 4**  **ライン入力ジャック。**
直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、外付けオーディオ装置を接続します。
- 5**  **マイクロホン・ジャック。**
直径 3.5 mm (1/8 インチ) のジャックで、電源内蔵型ステレオ・マイクロホンを接続します。

注: マイクロホン・ジャックにはマイクロホン以外の装置を接続しないでください。
- 6**  **外付けディスク・ドライブ・コネクタ。**
ThinkPad 240 に外付けディスク・ドライブを接続します。

7



セキュリティー・キーホール。
セキュリティー・システム・ロックをここに取り付けます。

8



内蔵モデム・ポート。

ThinkPad をアナログ電話回線に接続するときに使用します。モデルによっては、内蔵モデム機能は装備されていません。

9



電源ジャック。
AC アダプターのケーブルをここに接続します。

10



外付けディスプレイ・コネクタ。
外付けディスプレイをここに接続します。

11

バッテリー・パック。

ThinkPad 用の内蔵電源です。

12



パラレル・コネクタ。
パラレル・プリンターの信号ケーブルをここに接続します。

13



シリアル・コネクタ。
シリアル・デバイス用の 9 ピンのケーブルをここに接続します。

14

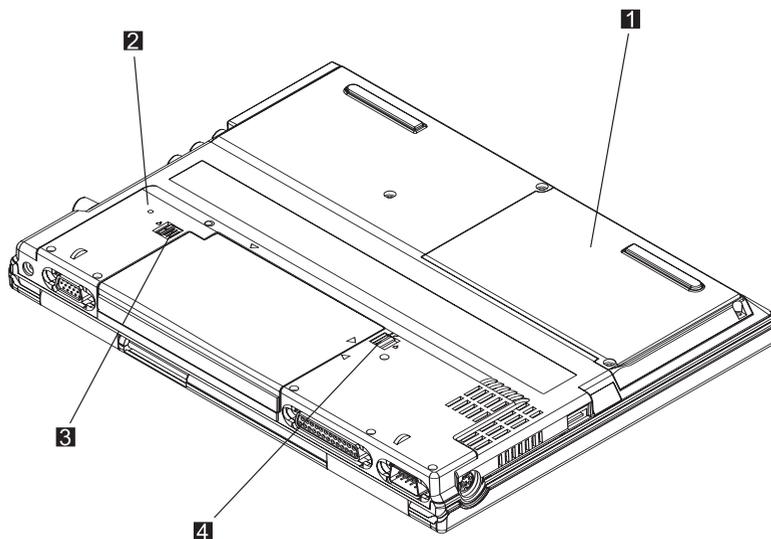


バッテリー・状況ランプ。
バッテリー・パックの状況を表示します。



サスペンド・ランプ。
ThinkPad がサスペンド・モードにあるときに点灯します。

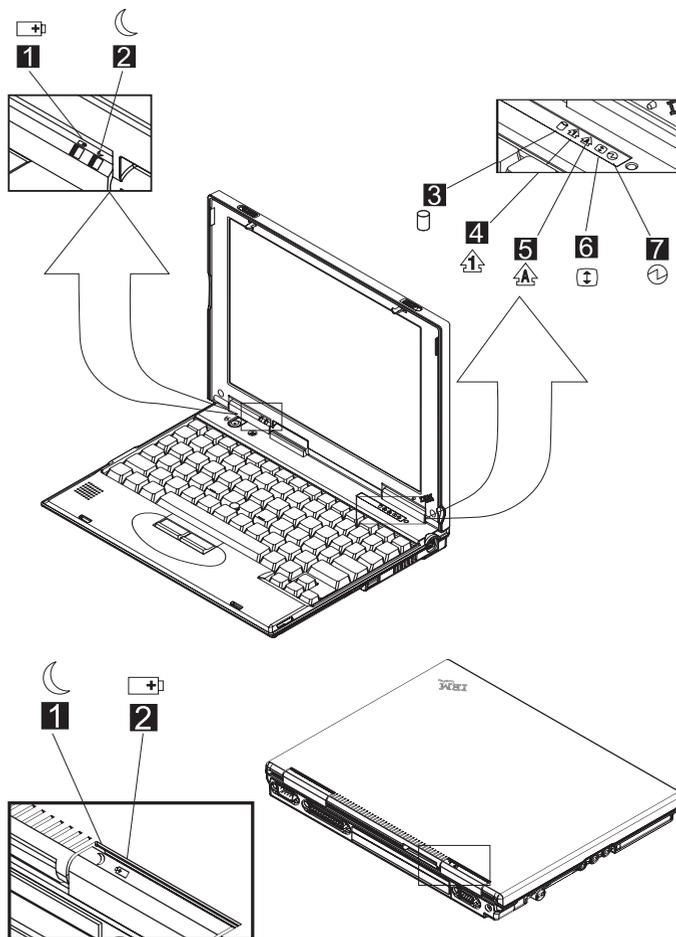
ThinkPad の底面図



- 1** ハード・ディスク・ドライブ。
ThinkPad に内蔵されている大容量記憶装置です。
- 2**  リセット・スイッチ。
ThinkPad がロック・アップした場合や「ハング」した場合に、クリップを伸ばした先端をこの孔に差し込み、システムをリセットします。
- 3** バッテリー・パック・ラッチ。
バッテリー・パックを取り出すときに使用します。
- 4** バッテリー・パック・ロック。
バッテリー・パックをロックしたり、解除したりします。ロック解除位置にスライドしてからでないと、 バッテリー・パック・ラッチをスライドして、バッテリー・パックを取り出すことができません。

システム状況インジケータ

ThinkPad のシステム状況インジケータは、点灯、消灯、または色 (緑およびオレンジ) によって ThinkPad の現在の状況を示すものです。各インジケータの役割は記号で表されます。次に、各記号の位置と意味を示します。



記号	インジケーターの色	意味
1 バッテリー状況 	緑	操作に十分なバッテリー残量があります。
	オレンジ点滅	バッテリー・パックを充電する必要があります。
	オレンジ	バッテリー・パックを充電しています。
2 サスペンド・モード 	緑	ThinkPad がサスペンド・モードであることを示します。
	緑点滅	ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに移行中、または通常の操作にレジュームしています。
3 HDD 使用中 	オレンジ	ハード・ディスクのデータを読み書きしているときに表示されます。このインジケーターが点灯している間は、ThinkPad をサスペンド・モードにしたリ、ThinkPad の電源をオフにしないでください。
4 ナム・ロック 	緑	このインジケーターが点灯している場合は、キーボードの一部のキーを数値キーパッドとして使用することができます。 [Fn] キーを押しながら [NumLk] キーを押すことによって、数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にすることができます。詳細については、16ページの『数値キーパッド』を参照してください。
5 キャップス・ロック 	緑	このインジケーターが点灯している場合は、Caps Lock (キャップス・ロック) モードで入力できます。このモードでは、 [Shift] キーを押さなくても、アルファベット (A-Z) はすべて大文字で入力されます。 [Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すことによって、キャップス・ロック・モードを使用可能または使用不可にすることができます。
6 スクロール・ロック 	緑	このインジケーターが点灯している場合は、スクロール・ロック・モードが使用できます。矢印キー ( ,  ,  , ) が画面スクロール機能キーとして作動します。この状態では、矢印キーでカーソルを移動させることはできません。この機能が使用可能かどうかは、使用するアプリケーション・プログラムによります。 [Fn] キーを押しながら [ScrLk] キーを押すことによって、スクロール・ロック・モードを使用可能または使用不可にすることができます。

記号	インジケータの色	意味
7 電源オン 	緑	ThinkPad が使用できる状態であることを示します。ThinkPad の電源がオンで、サスペンド・モードに入っていないときに点灯します。

ThinkPad の機能

ThinkPad には、独自のキーボード機能と簡単に構成を行えるユーティリティーが用意されています。ここでは、次の機能について説明します。

- キーボードの機能
- ThinkPad ユーティリティー

キーボードの機能

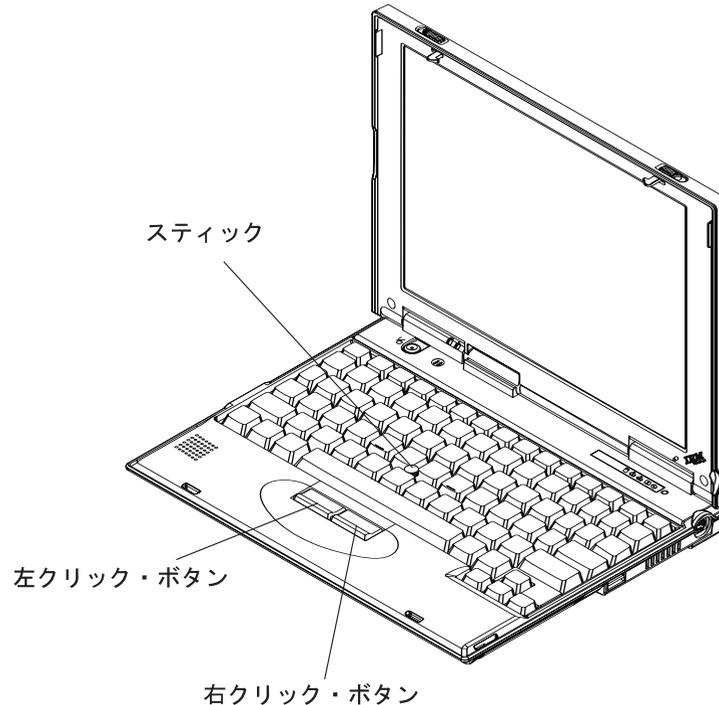
ThinkPad のキーボードには、次の機能が付いています。

- トラックポイント
- Fn キー
- 数値キーパッド

トラックポイント

キーボードには、**トラックポイント**という特殊なポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使うと、ポインティング、選択、ドラッグなどの操作を、通常のタイプ入力位置から指を離さずに一連の手順の中で行うことができます。

トラックポイントは、キーボード上のスティックとキーボード手前の 2 つのクリック・ボタンとで構成されています。画面上のポインターの動きは、スティックの先に付いているキャップを押す指の圧力によってコントロールできます。圧力は、キーボード面に対して平行に前後左右に加えます。スティック自体は動きません。ポインターの移動速度は、スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。左および右クリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左および右ボタンに対応し、使用するソフトウェアによって異なります。

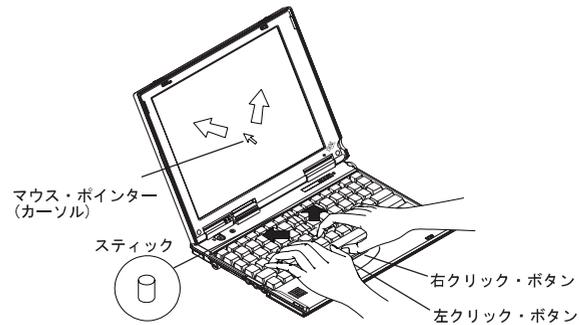
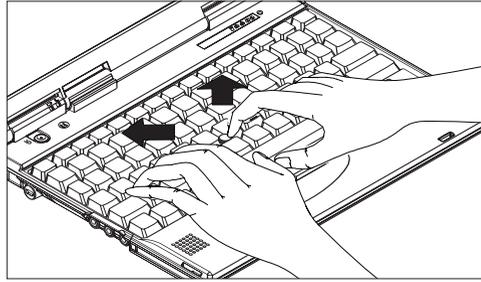


トラックポイントをはじめてお使いになる場合は、まず、次の説明をお読みください。

1. 両手をタイプ位置に置き、カーソルを移動させたい方向に、人差し指でスティックをゆっくりと押します。

スティックを LCD 方向に押すと、カーソルが画面の上方向に移動します。スティックを手前に押すと、カーソルが画面の下方向に移動します。また、スティックを左右の方向に押すと、カーソルが左右の方向に移動します。

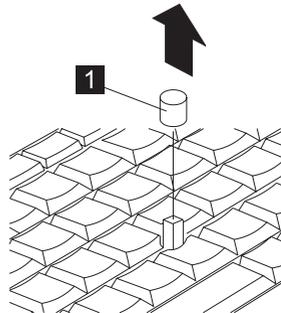
注: スティックに触れていなくてもカーソルがドリフト (浮動) する場合があります。これは故障ではありません。このような場合は、カーソルの動きが止まるまでトラックポイントに触らないでください。



2. 使用するソフトウェアの指示どおりに、親指を使ってクリック・ボタンを押し、選択およびドラッグ操作をします。

キャップの交換

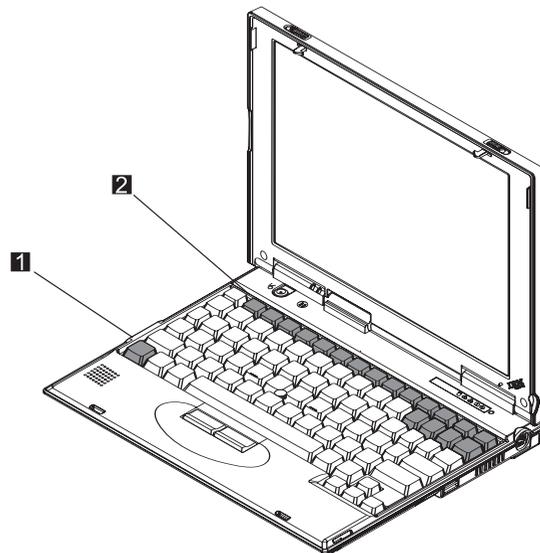
トラックポイントのスティックの先に付いているキャップ **1** は着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップと交換することができます。



トラックポイントのカスタマイズ方法 ➡ 44ページの『トラックポイントのカスタマイズ』

Fn キー

Fn キー機能は、特定の操作を瞬時に実行する便利な機能です。下表で示す機能を使用する場合は、**Fn** キー **1** を押しながら、対応するファンクション・キー **2** を押します。



Fn キー・ロック機能

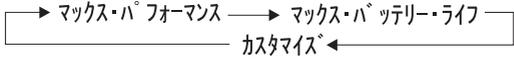
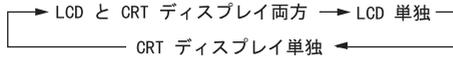
Fn キーを 1 回押すだけで **Fn** キーを押し続けたときと同じ効果が得られるように、ThinkPad を設定することができます。

「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します (32ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照)。「ユーザー補助」() アイコンをクリックしてから、「Fn キー・ロック (固定キー)」に対して「使用可能」をクリックします。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとは、**Fn** キーを 1 度だけ押してから、ファンクション・キーを 1 つ押してください。ThinkPad は、**Fn** キー + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

ロック機能を使用可能にした後で **Fn** キーを 2 回押すと、ファンクション・キーのみを押しただけで「**Fn** + そのファンクション・キー」の組み合わせとして認識されます。この機能を停止するには、**Fn** を再び押します。

次の表で、**Fn** キーと組み合わせが可能なキーの機能を示します。

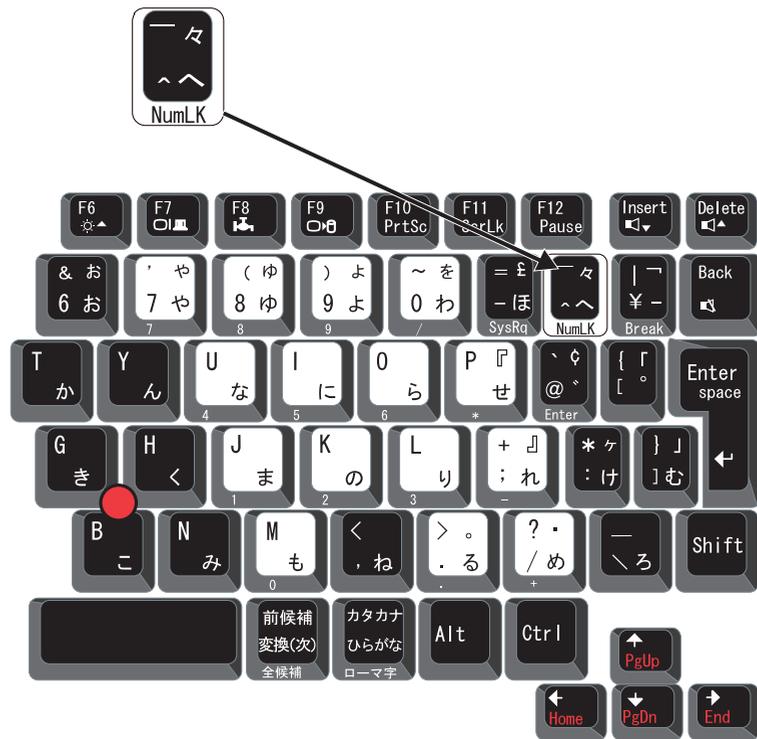
機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
省電力機能		
パワー・モードの切り替え 	Fn + F8	ThinkPad の省電力機能により、パワー・モードが次のように変化します。  詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド
バッテリー使用時の省電力機能		
スタンバイ・モード	Fn + F3	ThinkPad は LCD パネルとハード・ディスク・ドライブをオフにします。このモードに関する詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド
サスペンド・モード 	Fn + F4	ThinkPad はすべてのタスクを停止し、メモリーに全データを保管します。LCD パネルをクローズしても、サスペンド・モードに入ることができます。このモードに関する詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド
ハイパネーション・モード 	Fn + F9	ThinkPad はハイパネーション・モードになります。このモードに関する詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド
その他の機能		
LCD と外付けディスプレイの切り替え 	Fn + F7	外付けディスプレイが接続されている場合、ThinkPad の出力が次の順序で表示されます。 
音量アップとミュートオフ および音量ダウンとミュートオフ 	Fn + Delete Fn + Insert	スピーカーの音量を上げます。 スピーカーの音量を下げます。
ミュート 	Fn + Backspace	スピーカーの音を消します。

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
輝度のアップおよび輝度の ダウン  	Fn + F6 Fn + F5	LCD の輝度が上がります。 LCD の輝度が下がります。
PrtSc	Fn + F10	画面イメージを印刷します。(ソフトウェアによって異なります。)
ScrLk	Fn + F11	Scroll Lock (スクロール・ロック) モードを使用可能または使用不可にします。
Pause	Fn + F12	現在の動作を休止します。(ソフトウェアによって異なります。)
NumLock	Fn + ^	数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にします。
Break	Fn + ¥	画面上で行われている処理を一時的に停止します。
PgUp	Fn + 	Page Up (画面の表示内容を前のページに渡します。)
PgDn	Fn + 	Page Down (画面の表示内容を次のページに渡します。)
Home	Fn + 	Home (カーソルを左上隅または現在行の先頭に動かします。)
End	Fn + 	End (カーソルを現在行の末尾に動かします。)

数値キーパッド

ThinkPad のキーボードの一部は、数値キーパッド機能を使用可能にすれば、数値キーパッドのテン・キーのように使用することができます。(ただし、外付けキーボードが接続されているときは、キーボード上のこの数値キーパッド機能は使用できません。)

Fn キーを押しながら **NumLk** キーを押すと、数値キーパッドの機能を使用可能にしたり、使用不可にしたりすることができます。



この状態で、数値キーパッドとして使用しているときに、**Shift** キーを押したまま数値キーパッドの各キーを押すと、一時的にカーソル制御キーや画面制御キーとして使用することができます。

注: カーソル制御キーおよび画面制御キーの機能は、キーには印刷されていません。



ThinkPad ユーティリティ・プログラム

ThinkPad には、次のユーティリティ・プログラムが用意されており、簡単に構成できるようになっています。

- BIOS セットアップ・ユーティリティ
- ThinkPad 機能設定プログラム

ここでは、これらのユーティリティ・プログラムの概要について説明します。

BIOS セットアップ・ユーティリティ (IBM BIOS Setup Utility)

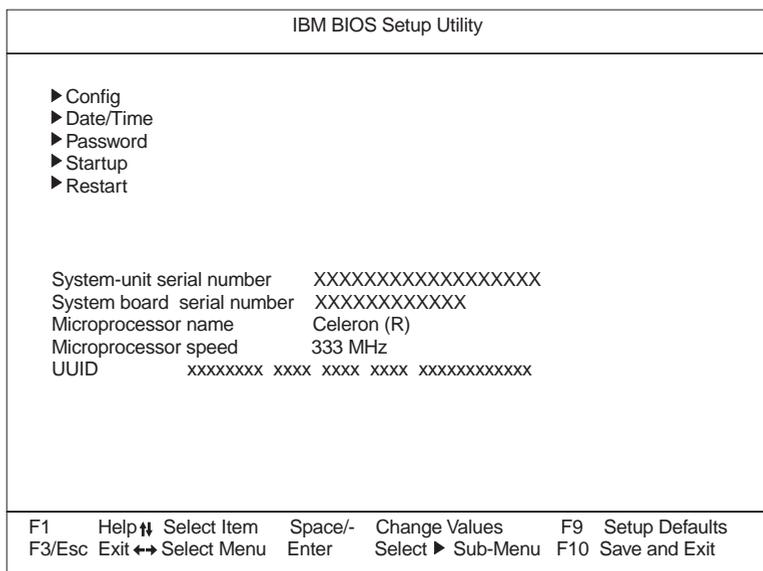
ThinkPad はさまざまなセットアップ・パラメーターを選択することのできる BIOS セットアップ・ユーティリティを提供しています。

- 「**Config**」：ご使用の ThinkPad 機能設定を設定します。
- 「**Date/Time**」：日付と時刻を設定します。
- 「**Password**」：パスワードを設定します。
- 「**Startup**」：始動デバイスの優先順位を設定します。
- 「**Restart**」：システムを再始動します。

BIOS セットアップ・ユーティリティ (IBM BIOS Setup Utility) を開始するには、以下のようにします。

1. ディスケット・ドライブからディスクを取り出してから、ThinkPad の電源をオフにします。
2. ThinkPad の電源をオンにし、IBM ThinkPad ロゴが表示されている間に **F1** を押します。

「IBM BIOS Setup Utility」メニューが表示されます。



3. 矢印キーを使用して変更したい項目まで移動し、**Enter** を押します。
サブメニューが表示されます。
4. 変更したい項目を変更します。
項目の値を変更するには、**-** または **スペース** キーを使用します。
5. サブメニューを終了するには、**Esc** を押します。
注: さらに先のサブメニューの中にいる場合は、「IBM BIOS Setup Utility」メインメニューが表示されるまで **Esc** を押します。
6. **F10** を押し、**Enter** を押すと、変更した項目が保管され、「IBM BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: 変更事項を破棄したい場合は、31ページの『Restart』を参照してください。

Config

Config 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Config" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility		
Config	Item Specific Help	
▶Memory ▶System Board Initialize ▶Advanced Setup		
F1 Help	⇧ Select Item	Space/- Change Values
F3/Esc Exit	↔ Select Menu	Enter Select ▶ Sub-Menu
F9	Setup Defaults	F10 Save and Exit

"Config" サブメニューには次の項目が含まれています。

- 「**Memory**」は、メモリー情報を表示するサブメニューに入ります。
- 「**System Board**」は、システム・ボード情報を表示するサブメニューに入ります。
- 「**Initialize**」は、拡張システム構成データ (ESCD) エリアを消去します。ここには、構成情報が格納されています。
- 「**Advanced Setup**」は、"Advanced Setup" サブメニューに入ります。

Advanced Setup

注: ユーザーのためにデフォルト設定値がすでに最適化されているため、Config 画面上の設定値を変更する必要はありません。値を変更すると、デバイスの競合を生じる場合があり、またオペレーティング・システムが正しく起動しない場合があります。

Advanced Setup 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Advanced Setup" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Advanced Setup	Item Specific Help
▶Serial Port ▶Infrared ▶Parallel port ▶PCI ▶Keyboard/Mouse ▶Power ▶Others	
F1 Help F3/Esc Exit	Help Select Item Space/- Change Values Enter Select ▶ Sub-Menu F9 Setup Defaults F10 Save and Exit

"Advanced Setup" サブメニューには次の項目が含まれています。

- **Serial Port** は、シリアル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Infrared** は、赤外線ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Parallel Port** は、パラレル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **PCI** は、PCI 装置のために ISA IRQ ラインを割り当てるサブメニューに入ります。
- **Keyboard/Mouse** は、キーボードおよびマウスの値を設定するサブメニューに入ります。

IBM BIOS Setup Utility	
Keyboard/Mouse	Item Specific Help
Track Point [Enabled] Typematic Rate [Fast] Sticky Fn key [Disabled]	Enable/Disable internal track point.
F1 Help Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit	

1. **Track Point** では、組み込み式のトラックポイントを使用可能にしたり、使用不可にすることができます。外付けシリアル・マウスまたは PS/2 マウスを使用する場合には、「Disabled」を選択して **TrackPoint** を使用不可にします。
2. **Typematic Rate** は、ある 1 つのキーを押している間はずっと、そのキーが繰り返されるようにするキーボード機能です。繰り返しキーの速度は、「Fast」、「Normal」のいずれかに設定できます。
3. **Sticky Fn key** では、Fn キー・ロック機能を使用可能にしたり、使用不可にします。「Enabled」を選択することでこの機能が使用可能になります。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとは、**Fn** キーを 1 度だけ押してから、ファンクション・キーを 1 つ押してください。ThinkPad は、**Fn** キー + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

ロック機能を使用可能にした後で **Fn** キーを 2 回押すと、ファンクション・キーのみを押しただけで「**Fn** + そのファンクション・キー」の組み合わせとして認識されます。この機能を停止するには、**Fn** を再び押します。

- **Power** は、電源管理に関する値を設定するサブメニューに入ります。

IBM BIOS Setup Utility		
Power		Item Specific Help
Power Mode for AC	[Customized]	Set a power saving mode for the system runs on AC power.
Power Mode for Battery	[Maximum Battery Life]	
Customize Timer Values		
Suspend Timer	[5 Minutes]	
LCD off Timer	[2 Minutes]	
HDD off Timer	[5 Minutes]	
Processor Speed:	[Fixed Max]	
Hibernate by timer	[Disabled]	
Low Battery Action	[Suspend]	
Suspend when LCD is closed	[Suspend]	
RediSafe	[Disabled]	
Resume On Time:	[Disabled]	
Resume Time	[00:00:00]	
Resume Date	[00/00/0000]	
Resume On Modem Ring:	[Enabled]	
Screen Blanking	[Enabled]	
Power switch mode	[On/Off]	
Suspend to hibernation	[Disabled]	
CPU Power Management	[Automatic]	
PCI Bus Power Management	[Automatic]	
F1 Help Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit Select Menu Enter Select Sub-Menu F10 Save and Exit		

- **Power Mode for AC** は、AC アダプターを接続した状態で ThinkPad を使用しているときに、省電力モードを設定します。このフィールドは、「*Maximum Performance*」、「*Maximum Battery Life*」、「*Customized*」のいずれかに設定できます。
- **Power Mode for Battery** は、バッテリー・パックを取り付けた状態で ThinkPad を使用しているときに、省電力モードを設定します。このフィールドは、「*Maximum Performance*」、「*Maximum Battery Life*」、「*Customized*」のいずれかに設定できます。
- **Customized Timer Values** では、いろいろな装置のタイマーを設定できます。ここで設定した値は、省電力モードが「*Customized*」のときに有効です。
 1. **Suspend Timer:** ThinkPad がサスペンド・モードに入るまでの時間を設定します。設定値は、「*Disabled*」か、1 分から 60 分までの範囲の数値です。
 2. **LCD off Timer:** LCD がアイドル状態のときに、システムが LCD をオフにするまでの時間を設定します。設定値は、「*Disabled*」か、1 分から 60 分までの範囲の数値です。
 3. **HDD off Timer:** HDD がアイドル状態のときに、システムが HDD をオフにするまでの時間を設定します。設定値は、「*Disabled*」か、3 分から 20 分までの範囲の数値です。

4. **Processor Speed:** 省電力モードのときに、プロセッサの速度を落とします。設定値は、「Fixed Max」、「Fixed Medium」、「Fixed Slow」、「Auto Medium」、「Auto Slow」のいずれかです。

- **Hibernate by timer** では、サスペンド・タイマーが満了したときに、サスペンド・モードでなく、ハイバネーション・モードに入るようにシステムを設定します。設定値は「Disabled」か「Enabled」です。
- **Low Battery Action** では、バッテリー残量が少なくなったときに、サスペンド・モードでなくハイバネーション・モードに入るようにシステムを設定します。設定値は、「Suspend」か「Hibernation」のいずれかです。
- **Suspend when LCD is closed** では、LCD パネルを閉じたときにサスペンド・モードに入るように、システムを設定できます。設定値は、「Suspend」か「No Suspend」のいずれかです。
- **RediSafe** では、AC 電源またはバッテリー電源が失われた場合に、システムが特殊ハイバネーション・サスペンド・モードに入るように設定します。特殊ハイバネーション・サスペンド・モードでは、システムがその状態をディスクに保管してから、通常のススペンド・モードに入ります。このようにして、システムは、AC アダプターまたはフル充電されたバッテリーが取り付けられると、ディスクから回復できます。RediSafe が BIOS で使用可能になった場合、**[Fn] + [F4]** キーの組み合わせを押すと、RediSafe モードに入ります。設定値は「Disabled」か「Enabled」です。

注: RediSafe が使用可能になると、システムは、通常のススペンド・モードの場合より、サスペンド・モードに入るのが遅くなります。
- **Resume On Time** では、指定された時刻または日付にサスペンド・モードに入るようにシステムを設定します。
 - **00:00:00** ThinkPad がサスペンド・モードに入る時刻を設定します。
 - **00/00/0000** ThinkPad がサスペンド・モードに入る日付を設定します。ここですべての値を "0" に設定して時刻を設定すると、ThinkPad は毎日同時刻にサスペンド・モードに入ります。
- **Resume On Modem Ring** では、モデムが着呼を検出したときにレジュームするように、システムを設定します。設定値は、「Enabled」か「Disabled」です。
- **Screen Blanking** では、スクリーン・ブランキングを使用可能または使用不可にします。プレゼンテーションを行う場合などに使用します。設定値は、「Enabled」か「Disabled」です。

- **Power switch mode** では、ThinkPad が始動した後の電源ボタンの機能を設定します。「*On/Off*」に設定すると、このボタンは ThinkPad の電源のオン、オフに使用されます。「*Hibernation*」に設定すると、電源ボタンはハイバネーション・モードに入るために使用されます。
- **Suspend to hibernation** では、サスペンド・モードからハイバネーション・モードへの移行を使用可能または使用不可にします。システムは、ハイバネーション・タイマーが満了すると、ハイバネーション・モードに入ります。設定値は、「*Disabled*」、「*30*」分、「*60*」分、「*90*」分のいずれかです。
- **CPU Power Management** では、CPU の省電力を使用可能または使用不可にします。「*Automatic*」に設定すると、システムは CPU の電力消費量を管理します。「*Disabled*」に設定すると、その CPU についての省電力は行われません。
- **PCI Bus Power Management** では、システム活動がない場合に、自動的に PCI バス・クロックを停止する、省電力機能を使用可能または使用不可にします。この機能を使用不可にすると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。「*Automatic*」に設定すると、システムは PCI バスの電力を管理します。この設定値は「*Disabled*」には変更しないようお勧めします。

• **Others**

IBM BIOS Setup Utility		
Others		Item Specific Help
Reset Config Data	[No]	Select 'Yes' if you want to clear the Extended System Configuration Data (ESCD) area.
Boot display device	[Both]	
HV Expansion	[On]	
Brightness	[Normal]	
Startup Screen	[Enabled]	
F1 Help # Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit		

- **Reset Config Data** は、BIOS 構成データを出荷時のデフォルトに設定し直します。

- **Boot display device** は、始動時のディスプレイ出力装置を設定します。詳細については、61ページの『ディスプレイの表示先の変更』を参照してください。
- **HV Expansion** は、画面の拡大 / 縮小を行います。詳細については、61ページの『ディスプレイの表示先の変更』を参照してください。
- **Brightness** は、輝度レベルを指定します。
 - 「Normal」は、LCD 輝度が電源の種類に基づいて変化するように指定します。ThinkPad がバッテリーで駆動されているときは、LCD 輝度レベルは半分に減少します。
 - 「High」を指定すると、ThinkPad がバッテリーで駆動されている場合であっても、LCD は常に最大輝度となります。ThinkPad は「Normal」モードの場合よりも、この設定値ではより多くの電力を消費します。
- **Startup Screen** は、始動画面を使用可能または使用不可とします。
始動画面は IBM ThinkPad ロゴを表示します。この画面を非表示としたい場合は、これを「Disable」に設定します。

Date/Time

Date/Time 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Date/Time" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Date/Time	Item Specific Help
System Time: [17:28:12] System Date: [03/21/1999]	<Tab>, <Shift-Tab>, or <Enter> selects field.
F1 Help  Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit  Select Menu Enter Select  Sub-Menu F10 Save and Exit	

日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

1. 上矢印または下矢印キーを押して変更する項目、日付または時刻、を選択します。
2. **Tab** または **Enter** を押し、フィールドを選択します。
3. 日付または時刻を入力します。
注: 入力を行う代わりに、**-** または **スペース** キーを押して、日付または時刻を調整することもできます。
4. **F10** を押し、**Enter** を押すと、「IBM BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: ThinkPad にインストールされているオペレーティング・システムのアプリケーションを使用して、現在の日付および時刻を設定することもできます。

パスワード

Password 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Password" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Password	Item Specific Help
Set Power-On Password [Enter] Set Hard Disk 1 Password [Enter] Set Supervisor Password [Enter]	
F1 Help Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit Select Menu Enter Select Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューは、始動パスワード、ハード・ディスク・パスワード、およびスーパーバイザー・パスワードを設定するために使用します。詳細については、68ページの『パスワードの使用』を参照してください。

Startup 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Startup" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Startup	Item Specific Help
- Removable Devices Legacy Floppy Devices - Hard Drive IBM-DBCAxxx Network Boot	
F1 Help \updownarrow Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit \leftrightarrow Select Menu Enter Select \blacktriangleright Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューは、ThinkPad のドライブの始動優先順位を変更するのに使用します。

たとえば、複数の着脱式ハード・ディスク・ドライブや PC カードに複数のオペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれかからシステムを始動することができます。

考慮事項: 始動優先順位を変更した後は、コピー、保管、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。

このサブメニューには次の項目が含まれます。

- **Removable Devices** では、ディスク・ドライブを始動装置として設定します。
- **Hard Drive** では、HDD を始動装置として設定します。
- **Network Boot** では、始動時にリモート・ネットワーク・ドライブを設定します。

始動優先順位を変更する手順は、次のとおりです。

1. 上矢印または下矢印キーを押して変更する項目を選択します。
2. **-** (マイナス) キーを押して優先順位リスト中の項目を下に移動します。 **+** (プラス) キーを押して優先順位リスト中を上移動します。
3. 変更したいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** を押し、 **Enter** を押すと、「IBM BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

始動優先順位からデバイスを取り除くには、以下のようにします。

1. 上矢印または下矢印キーを押して取り除く項目を選択します。
2. **Shift** キーと **1** キーを押します。
3. 取り除きたいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** を押し、 **Enter** を押すと、「IBM BIOS Setup Utility」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

Restart

Restart 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Restart" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Restart	Item Specific Help
Exit Saving Changes Exit Discarding Changes Discard Changes Save Changes	Exit System Setup and save your changes to CMOS.
F1 Help \updownarrow Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit \leftrightarrow Select Menu Enter Select \blacktriangleright Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューには次の項目が含まれます。

- **Exit Saving Changes:** は、変更事項を保管して「IBM BIOS Setup Utility」を終了します。
- **Exit Discarding Changes:** は、変更事項を破棄して「IBM BIOS Setup Utility」を終了します。
- **Discard Changes:** は変更を破棄します。
- **Save Changes:** は変更事項を保管します。

再始動オプションを選択し、**Enter** を押します。

ThinkPad 機能設定プログラム

「ThinkPad 機能設定」プログラムを使うと、ThinkPad の内蔵デバイスを必要に応じてセットアップしたり、カスタマイズすることができます。たとえば、ポートを使用可能または使用不可にしたり、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイを切り替えたり、省電力機能を設定したりすることができます。



Windows 98 および Windows 95 の場合:

「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動するには、「スタート」をクリックします。カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



1 「ディスプレイ」ボタン

これらのボタンのどれかをクリックして、画面の表示先を「LCD 単独」、「CRT ディスプレイ単独」または「LCD と CRT ディスプレイ両方」のどれかに設定します。プレゼンテーションを行う場合は、「スクリーン・ブランキングを使用不可にする」ボタンをクリックして、ディスプレイ・タイマーや省電力モード・タイマーなどのシステム・タイマーを使用不可にし、プレゼンテーション中に画面が消えることのないように設定できます。

2 「パワー・モード」ボタン

これらのボタンのどれかをクリックして、パワー・モードを「マックス・パフォーマンス」、「マックス・バッテリー・ライフ」、または「カスタマイズ」のいずれかに設定します。

3 「デバイスマネージャを開く」ボタン

このボタンをクリックして、「コントロール パネル」の「システムのプロパティ」ウィンドウを立ち上げます。

4 「ヘルプ」ボタンで、オンライン・ヘルプが表示されます。

5 「デバイス」ボタン

ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の緑のインジケーターがオンになります。このインジケーターがオフのときは、そのデバイスは使用できません。

システムのバックアップ

システムのバックアップを作成したり、オペレーティング・システムやサポート・ソフトウェアを再インストールするために、ThinkPad には次の機能があります。

- 導入済みアプリケーション CD
- Product Recovery CD-ROM
- ConfigSafe
- Web サイトでの最新のサポート・ソフトウェアの提供

注:

導入済みアプリケーション CD または Product Recovery CD を使用する場合、ThinkPad と互換性のある外付けの CD-ROM ドライブが接続されている必要があります。

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

導入済みアプリケーション CD の使用

この CD-ROM は、主に初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアおよびデバイス・ドライバー、そしていくつかのアプリケーション・プログラムを再インストールする場合に使用します。また、Windows 95 など他のオペレーティング・システムを使用する場合のサポート・ソフトウェアおよびデバイス・ドライバーも収められています。

Product Recovery CD-ROM の使用

ThinkPad には Product Recovery CD-ROM (以下、リカバリー CD)、および Recovery CD-ROM Boot Diskette が付属しています。

ThinkPad のハードディスク内に初期インストール済みの Windows 98、または Windows 95 を間違えて消去してしまった場合、リカバリー CD を使用して、初期インストールされているハードディスクの内容を購入時の状態に回復 (リカバリー) することができます。

重要

これらの回復プログラムは、お客さま個人のデータや、カスタマイズした構成の設定をすべて削除します。ハードディスクの内容は、すべて出荷時の状態に設定されます。リカバリー CD を使用する前に、お客さまが個人で作成あるいは変更されたファイルのバックアップを必ず作成してください。

リカバリーの方法については、リカバリー CD のパッケージに付いている説明書をお読みください。

リカバリーには、最大で 2 時間かかる場合があります。

ディスクット・ファクトリーの使用

「ディスクット・ファクトリー」プログラムには、ThinkPad 用のいくつかのサポート・ソフトウェアが入っています。このプログラムを使用して、いくつかのサポート・ソフトウェアを作成することができます。(ディスクット・ファクトリーの使用方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド)

新しいオペレーティング・システムおよびデバイス・ドライバーも含めて、ソフトウェアをインストールする方法の詳細 ➡ ステップ・アップ・ガイド。

ConfigSafe

ConfigSafe とは、Windows 98、Windows 95、または Windows NT 用のアプリケーションの 1 つです。これは、システム設定情報を定期的に一時保存するものです。たとえば、新しいデバイス・ドライバーやソフトウェアのインストール後に ThinkPad が正しく作動しなくなったときに、ConfigSafe を使用すると、インスト

ール前のシステム設定情報のバージョンが復元されます。この状態で ThinkPad をもう一度起動させて、実行することが可能です。

詳しくは、[オンライン・マニュアル](#)を参照してください。

最新のソフトウェアの入手先

IBM では次の ThinkPad Web サイトやパソコン通信で、最新のハードウェア・デバイス・ドライバーおよびシステム BIOS を提供しています。

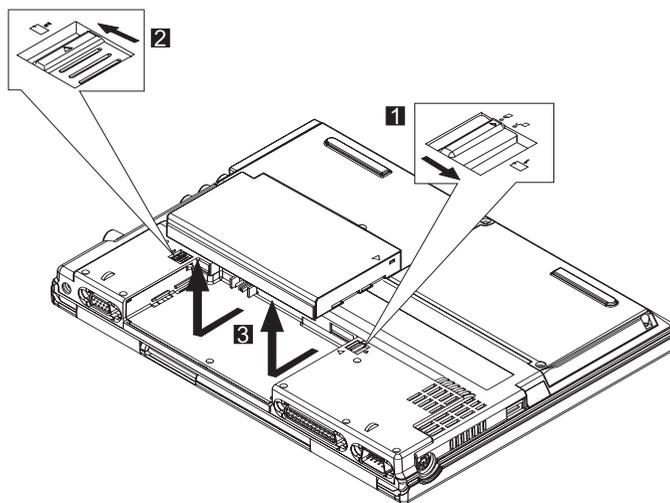
<http://www.ibm.co.jp/pc/home/download.html>

最新のソフトウェアの入手方法  [ステップ・アップ・ガイド](#)

バッテリー・パックの交換

バッテリー・パックを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad の電源をオフにします。
2. AC アダプターやその他のケーブル類を取り除きます。
3. 液晶ディスプレイを閉じて ThinkPad を裏返します。
4. バッテリー・パック・ロック **1** をロック解除の位置  にスライドします。バッテリー・ラッチ **2** を矢印の方向にスライドします。バッテリー・パックを取り外します **3**。



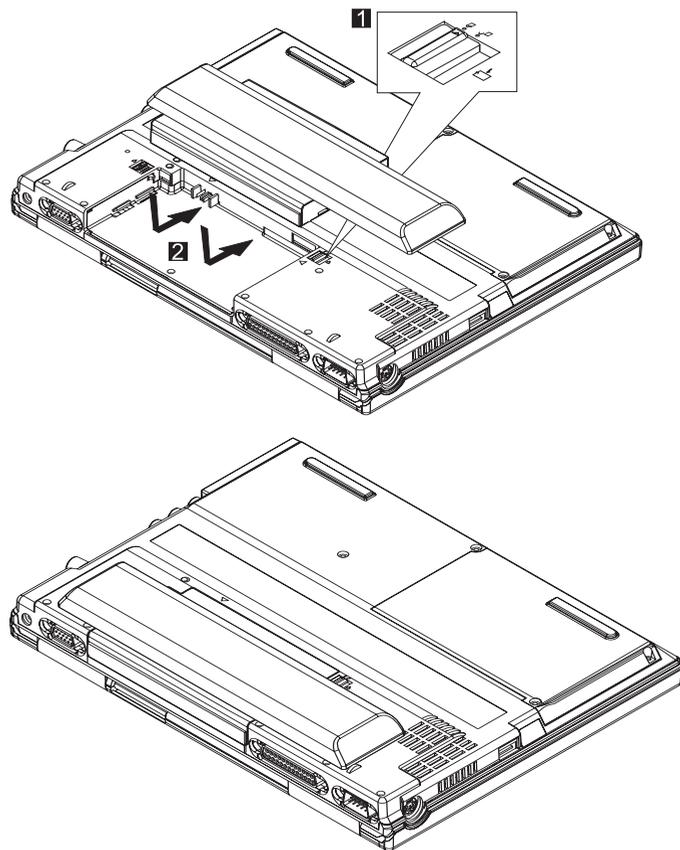
5. 新しいバッテリー・パックを取り付けるには、バッテリー・パックをバッテリー用スペースに挿入します。

これで、バッテリー・パックの交換が完了しました。

注: バッテリー・パックは、ThinkPad がハイバネーション・モードになっているとき、または ThinkPad の電源がオフになっているときに交換できます。PC カードを使っている場合は、ThinkPad がハイバネーション・モードに入らない場合があります。入らない場合は、ThinkPad の電源をオフにしてください。

大容量バッテリー・パックの取り付け

大容量バッテリー・パックを取り付ける場合は、37ページの『バッテリー・パックの交換』の説明を参照しながら、次の図をご覧ください。



ThinkPad の取り扱い

ここで示す取り扱いに関する注意を守ること、ThinkPad をより長くお使いいただけます。

ノート型パソコンは精密機器のため、取り扱いには注意が必要です。IBM ThinkPad は、通常の操作環境では、問題なく動作するように設計され、テストされた丈夫なノート型パソコンですが、取り扱いには注意が必要です。

注: ThinkPad の電源をオフにした場合は、再びオンにするまでに最低 5 秒間待ってください。

次のことは行わないでください。

- ThinkPad を落とす、ぶつけるなど、物理的な衝撃を与える。
- ThinkPad の上に重い物を置く。
- ThinkPad に液体をこぼす。
- ThinkPad を水の近くや水中で使用する (感電の恐れがあります)。
- ThinkPad を荷物がいっぱい詰まったスーツケースやバッグに入れる (圧力で内部が損傷する可能性があります)。
- ThinkPad を分解する (ThinkPad を分解し、修理できるのは、専門の修理サービス技術者だけです)。
- ThinkPad の LCD の表面を引っかいたり、ねじったり、たたいたり、押ししたりする。
- LCD とキーボードの間に物を置く。
- LCD の部分を持って ThinkPad を持ち上げる (LCD が開いた状態で ThinkPad を持ち上げる場合は、底 (キーボード) 側を持ってください)。
- LCD を開いた状態または閉じた状態にしておくために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりする。
- AC アダプターが接続されているときに、ThinkPad を裏返す (アダプター・プラグが損傷する可能性があります)。
- 温度が 5° C 以下 (ディスク使用時は 10° C 以下) または 35° C 以上になる場所で、ThinkPad を使用する。

- モーター、磁石、テレビ、冷蔵庫、大型スピーカーなど、強い電磁波を発する電気器具から、13 cm 以内に近づける。
- 激しく振動する場所、たとえば車内などに、ThinkPad を常置する。(42ページの『ThinkPad に適さない環境』を参照してください)。
- ThinkPad から取り外している外付けまたは着脱式のハード・ディスクを引っかいたり、落としたりして、物理的な衝撃を与える。
- ディスケットを外付けディスク・ドライブに入れるときに、斜めに入れる。ディスクケットをまっすぐに入れないと、ヘッドを損傷する恐れがあります。
- ディスケットに複数のラベルを貼る (複数のラベルやとれかかったラベルは、ドライブ内ではがれたり破れたりして、引っ掛かってしまう可能性があります)。
- PBX (構内交換機) やその他のデジタル電話回線をモデムに接続する (ThinkPad には、**PSTN (公衆交換電話網)** のみをお使いいただけます。PSTN 以外の電話回線を使うと、モデムが損傷する可能性があります。お使いの電話回線が不明な場合は、電話設備の管理者にお問い合わせください。多くのホテルやオフィス・ビルでは、デジタル電話回線を使っています。このような場所では、電話回線に接続する前に、必ず確認してください)。
- ThinkPad の操作中やバッテリーの充電中に、ThinkPad 本体をひざや身体の一部に長時間接触させる (通常の操作中、ThinkPad は少量の熱を発生します。この熱は、システム動作のレベルおよびバッテリー充電レベルによって変化します。)
- 電源オン状態の携帯電話を ThinkPad に接触させる。

次のことを行うようにしてください。

- ThinkPad を、精密電子機器として取り扱う。
- ビニール袋などによる窒息の危険を回避するため、梱包材を、お子様の手の届かない場所に保管する。
- ThinkPad 製品を IBM に登録する (セットアップ・ガイドを参照)。登録することにより、紛失したり盗難に遭った ThinkPad が発見された場合に、持ち主を特定することが可能になります。また、登録していただいたお客様には、IBM からアップグレードについてのお知らせをさせていただきます)。
- ThinkPad に関する最新情報を入手するために、定期的に IBM の web ページをチェックする。(URL は <http://www.ibm.co.jp/pc/thinkpad/index.html>)

ThinkPad のお手入れ

ときどき ThinkPad を次のように手入れしてください。

- 中性洗剤を含ませた柔らかい布で本体の外側をふく。(クリーナーを直接 LCD やキーボードにスプレーしないでください。)
- LCD を、乾いた柔らかい布で軽くふく。アルコールまたは洗剤を使用して LCD をふかないでください。

ThinkPad の携帯

ThinkPad を携帯するときは、次の指示に従って本体およびデータを損傷させないように注意してください。

1. 外付けディスク・ドライブを取り外し、保管しておきます。
2. 本体に接続しているデバイスの電源をすべてオフにしてください。
3. ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じてください。
4. 本体に接続している外付けケーブルやコード類をすべて抜いてください。
5. ThinkPad のドア部分やカバーがすべて閉じていることを確認してください。
6. 適度なクッションと保護の役目をする高品質のキャリング・ケースを使用してください。

バッテリーの寿命を長持ちさせるには

- 可能な限り、ThinkPad の省電力機能を使うようにしてください。
 - スタンバイ: LCD とハード・ディスク・ドライブの電源がオフになります。
 - サスペンド: 電力を節約するために、すべてのタスクが停止し、メモリーに格納されます。
 - ハイバネーション: すべてのタスクが停止します。メモリー・データと ThinkPad の現在の状況がハード・ディスク・ドライブに格納されてから、電源がオフになります。
- LCD の輝度を抑えてください。
- 電源管理機能 (APM) を使用してください。各オペレーティング・システムには、専用の APM が付属しています。

- モデム、シリアル・ポート、赤外線ポートなどの内蔵シリアル・デバイスを使用していないときは、それらへの電源供給を停止してください。
- ThinkPad を長期間使用しない場合は、バッテリー・パックを取り外し、涼しい場所で保管してください。

ThinkPad に適さない環境

モバイル・コンピューターを使って仕事をする人の中には、高温、高湿度、物理的な衝撃など、厳しい操作環境で情報を管理したり、通信しなければならない方もいます。このような環境での建築現場作業、集配作業、修理サービス作業、公益事業などが、厳しい環境に耐えられるようなモバイル・コンピューターを必要とする作業の例と言えます。ThinkPad は、このような環境での使用を前提としたコンピューターではありません。

第2章 ThinkPad の機能の拡張

本章では、ThinkPad の機能をカスタマイズし、拡張する方法について説明します。外付けデバイスを接続して ThinkPad を使用したり、メモリーを増設したりすることができます。

トラックポイントのカスタマイズ	44
「プレス・セレクト」のページの使用	45
「感度」ページの使用	46
メモリーの増設	47
メモリーの増設方法	47
外付けマウス、またはキーボードの接続	53
マウスの接続	53
外付けキーボードとマウスの接続	54
トラックポイントの使用不可	56
外付け FDD ドライブの接続	57
外付け CD-ROM ドライブの接続	58
ThinkPad 240 への CD-ROM ドライブの接続	58
CD-ROM デバイス・ドライバーのインストール	59
外付けディスプレイの接続	59
ディスプレイの表示先の変更	61
表示モード	62
プリンターの接続	64
PC カードの取り付け	65
PC カードの取り外し	66

トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. カーソルを「設定」まで移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
3. 「トラックポイント」をダブルクリックします。

「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、次の機能を設定できます。

- プレス・セレクト
- 感度

各機能に対応するタブを押すとその機能に関するウィンドウが表示されるので、そこで設定してください。

「プレス・セレクト」のページの使用



「プレス・セレクト・オン」のボックスにチェック・マークを追加してプレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックをキーボードの左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができますようになります。

- 「ドラッグ・オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントのスティックを軽く押すことで、トラックポイントで選択したアイコンをドラッグできるようになります。
- 「リリース・セレクト・オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントからすばやく指を離すだけで、簡単にクリックできるようになります。カーソルをアイコン上に移動した後、トラックポイントからすばやく指を離した瞬間にクリックが入力されます。続けてトラックポイントをもう一度押すと、ダブルクリックと同様の効果が得られます。

- 「プレス・セレクトへの割り当て」プレス・セレクトに左ボタン、右ボタンのどちらかの機能をもたせるかを選択します。たとえば、「左クリック」を選択すると、ポインターをプログラムのアイコンに合わせ、トラックポイントのスティックを2回軽く押すことにより、そのプログラムを始動できるようになります。

スティックを押すタイミングの調節アイコンは、「クリックの速さ」で設定します。

注: クリック速度の設定を遅くし過ぎた場合は、意図しないクリック、カーソルの遅れ、またはドラッグの遅れなどが起こることがあります。また、設定を速くし過ぎた場合は、プレス・セレクトの操作が困難になります。

「感度」ページの使用

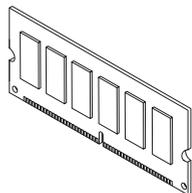


この機能は、ポインターとプレス・セレクトの両方の感度を同時に調節します。「重く」の方にスライドさせると、ポインターの動きは鈍くなり、プレス・セレクトは、より強く押さなければ入力できなくなります。また、「軽く」の方にスライドさせる

と、ポインターの動きは軽くなり、プレス・セレクトは弱く押すだけで入力できるようになります。

メモリーの増設

メモリー容量の増設は、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。ThinkPad のメモリー容量は、オプションのメモリー・モジュール (SoDIMM) を増設して、増やすことができます。



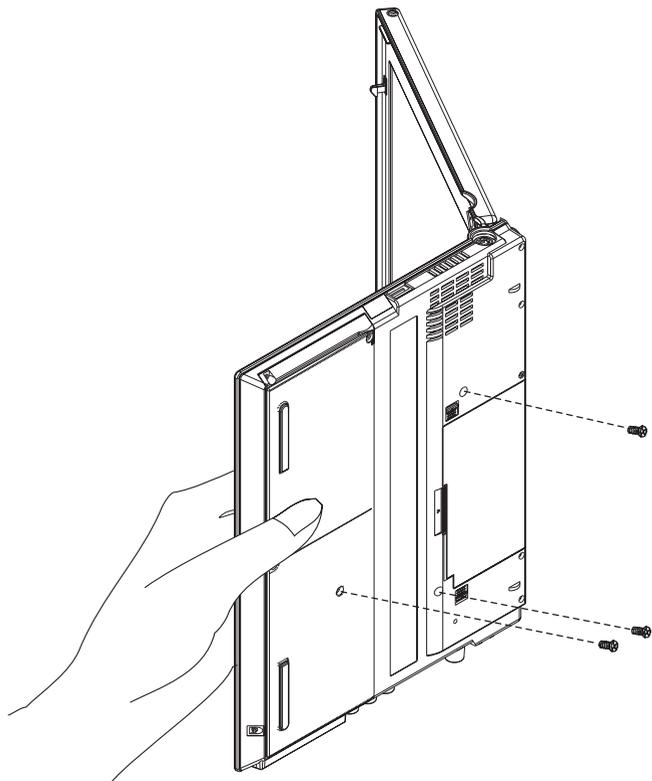
さまざまな容量の SoDIMM を取り付けることができます。

注: ThinkPad のメモリー容量を変更した場合は、ハイパネーション・ファイルを作成し直す必要があります。ハイパネーション・ファイルの作成方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド

メモリーの増設方法

ThinkPad 240 のメモリーは増設することができます。次の説明と図を参照してください。

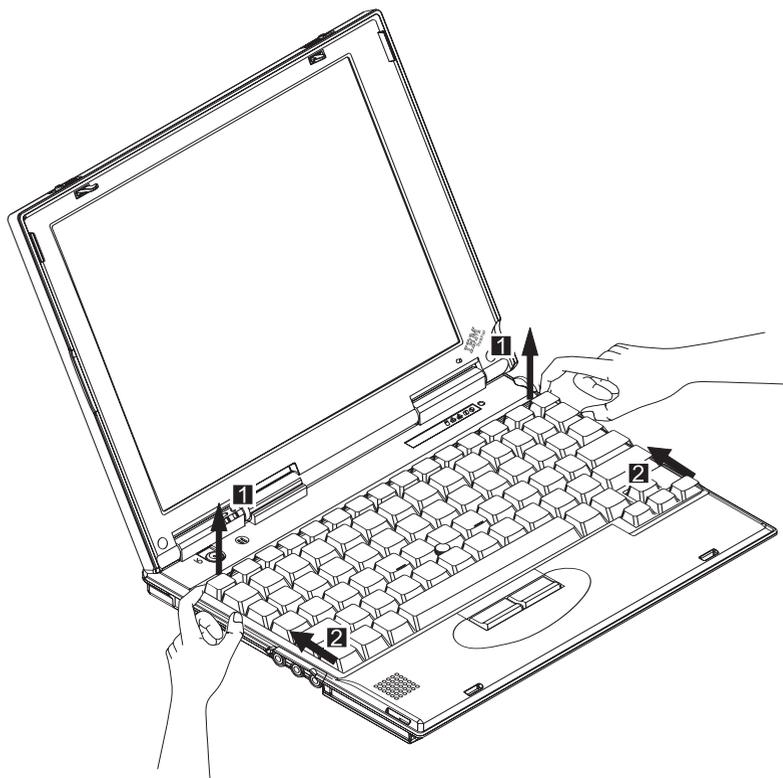
1. 電源をオフにします。周辺装置をすべて切断します。AC アダプターを切断します。
2. バッテリーを取り外します (37ページの『バッテリー・パックの交換』を参照)。
3. LCD パネルを 90 ~ 130 度の角度にまで開き、ThinkPad を横にします。
4. メモリー・チップ・アイコンのマーク  が付いた 3 つのネジ穴を確認します。下の図のようにキーボードを手で持って、これらの穴から 3 本のネジを外し、保管しておきます。



5. ThinkPad 240 を通常の向きに置きます。
6. 次の図の **1** に示すようにキーボードの一番上を引き上げます。 **2** のようにして、矢印の方向にキーボードを引き出します。

注意:

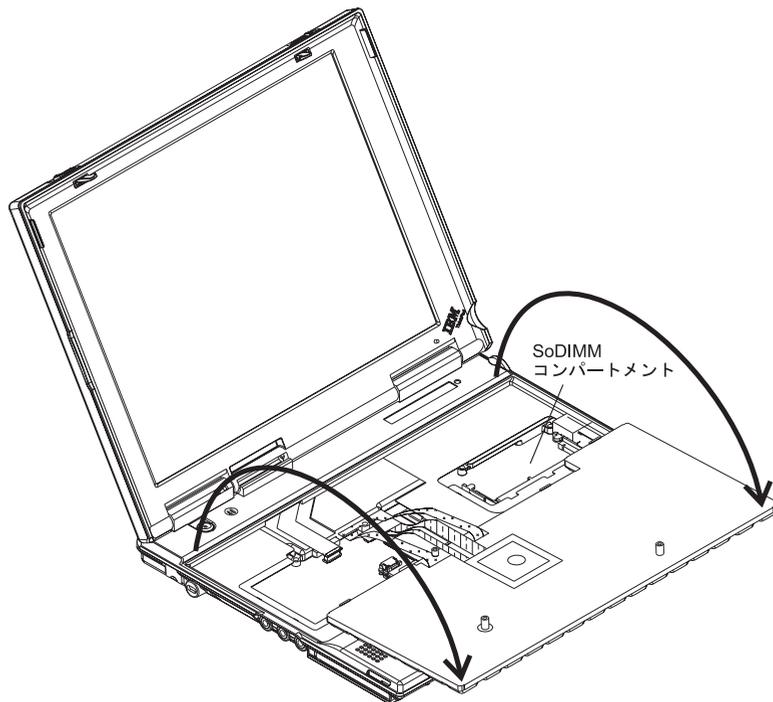
ThinkPad からキーボードを引き出したときは、あまり遠くに離さないください。キーボード・ケーブルが損傷するおそれがあります。



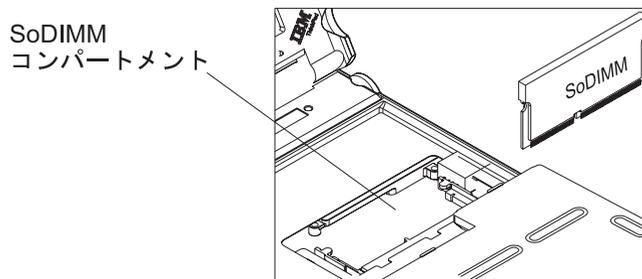
注意:

キーボードが開いている間は、キーボードを取り出した後の空間に異物などが入らないように気を付けてください。

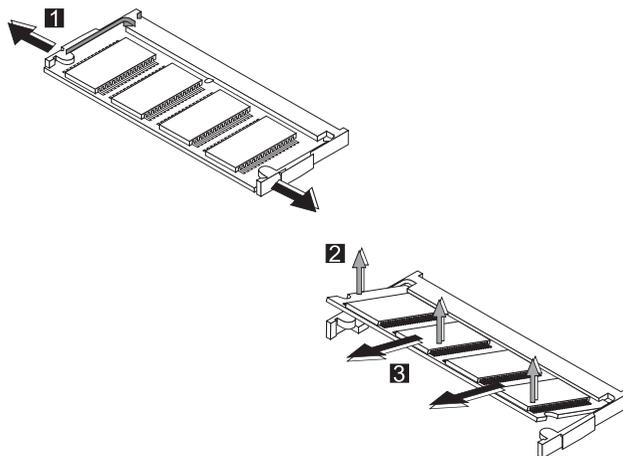
7. キーボードの最上部を 180 度ひっくり返して、トラックポイント・ボタンの上に置きます。この際、キーボード・ケーブルを強く引っ張らないようにしてください。



8. SoDIMM のコンパートメントを確認します。

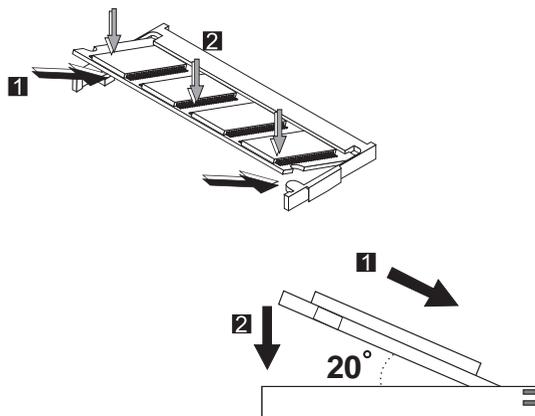


9. すでに SoDIMM が挿入されている場合は、まずそれを取り外します。



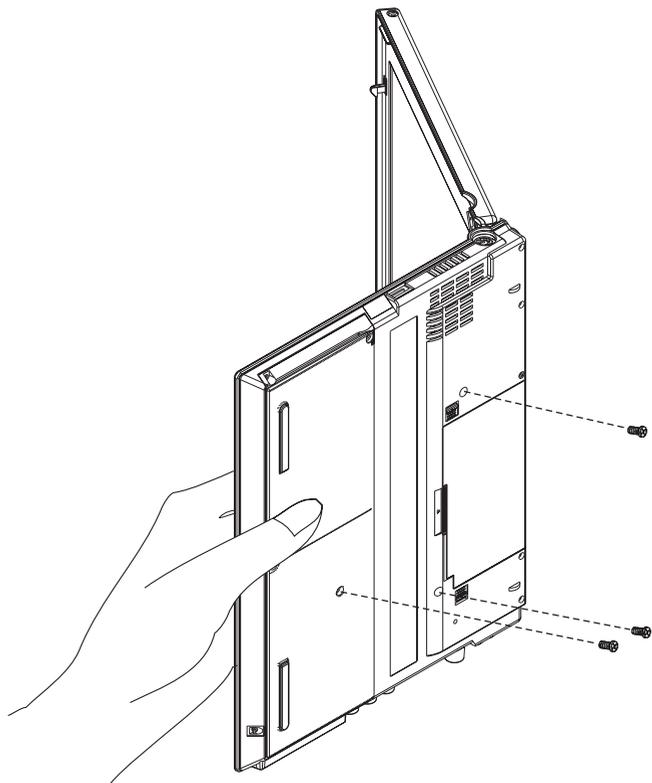
- a. タブを矢印の方向 **1** に引いて、SoDIMM を解放します。
- b. SoDIMM を、角度が 20 度になる位まで上に引き上げます **2**。
- c. ソケットから SoDIMM を引き出します **3**。

10. 増設する SoDIMM を挿入します。



- a. SoDIMM の切り込みをスロットの位置に合わせます。
- b. SoDIMM を約 20 度傾けて **1** 挿入します。
- c. カチッと音がして SoDIMM が所定の位置 **2** に収まるまで押し下げます。

11. キーボードが元の位置になるように前方に 180 度返して、キーボードを挿入し直します。この際、キーボード・ケーブルが折れていないこと、すべてのタブが挿入されていることを確認します。
12. キーボードを一方の手で押さえながら、ThinkPad を横にします。ステップ 3 で外したネジを元どおり取り付けます。



13. ThinkPad 240 を再起動します。ThinkPad は自動的に新しく取り付けられたメモリーを認識します。

外付けマウス、またはキーボードの接続

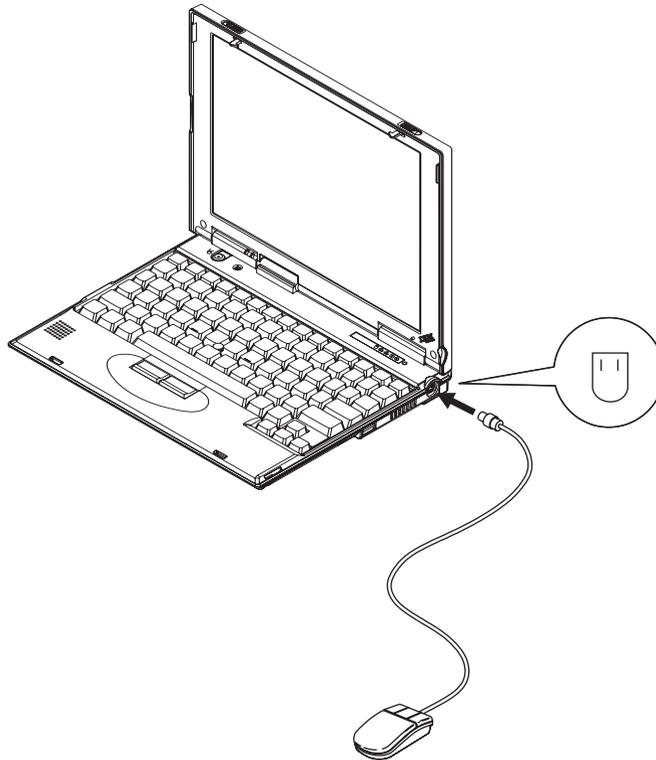
ここでは、ThinkPad にマウス、および外付けキーボードを接続する手順について説明します。

マウスの接続

マウスを ThinkPad 側面の外付け入力装置コネクタ () に接続することができます。

マウスは以下のようにして接続します。

1. ThinkPad の電源をオフにします。
2. マウスを、図に示されているように、外付け入力装置コネクタに直接接続します。

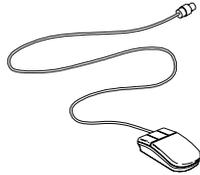


3. ThinkPad の電源をオンにします。

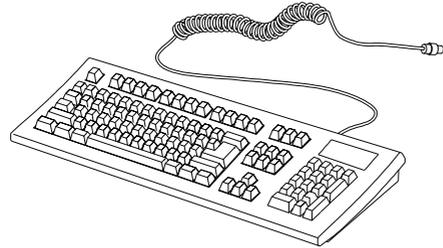
トラックポイントは自動的に使用不可となります。

考慮事項: シリアル・マウスまたは USB マウスを使用する場合は、マウスを接続して、トラックポイントを使用不可にして (56ページの『トラックポイントの使用不可』を参照) から、ThinkPad を再起動する必要があります。

外付けキーボードとマウスの接続



マウス



外付けキーボード

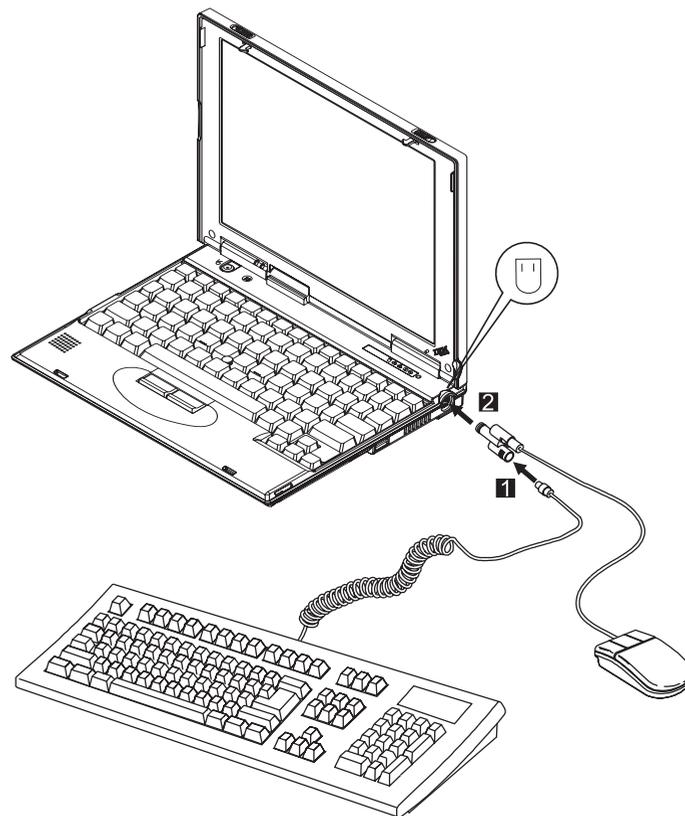
外付け入力装置コネクタから直接、またはキーボード/マウス・ケーブルを使って (オプションとして別途購入可能) 外付けキーボードを ThinkPad に接続することができます。

外付けキーボードを接続すると、ThinkPad 本体のキーボード上の数値キーパッドが使用できなくなります。

代わりに、外付けキーボードの数値キーパッドを使用してください。

外付けキーボードを接続するには、ThinkPad の電源をオフにし、キーボードをキーボード / マウス・コネクタのキーボード・ポートに接続してから **1**、キーボード / マウス・コネクタを ThinkPad に接続します **2**。

マウスは、キーボード/マウス・コネクタのマウス・ポートに接続します。



トラックポイントの使用不可

シリアル・マウスを使用するためには、その前にトラックポイントを使用不可にする必要があります。



Windows 98 および Windows 95 の場合:

トラックポイントを以下のようにして使用不可にします。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。(32 ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照してください。)



2. 「トラックポイント」() ボタンをクリックします。
3. トラックポイントで「使用不可」をクリックします。

この変更は、ThinkPad の電源をいったんオフにし、もう一度オンにすると有効になります。

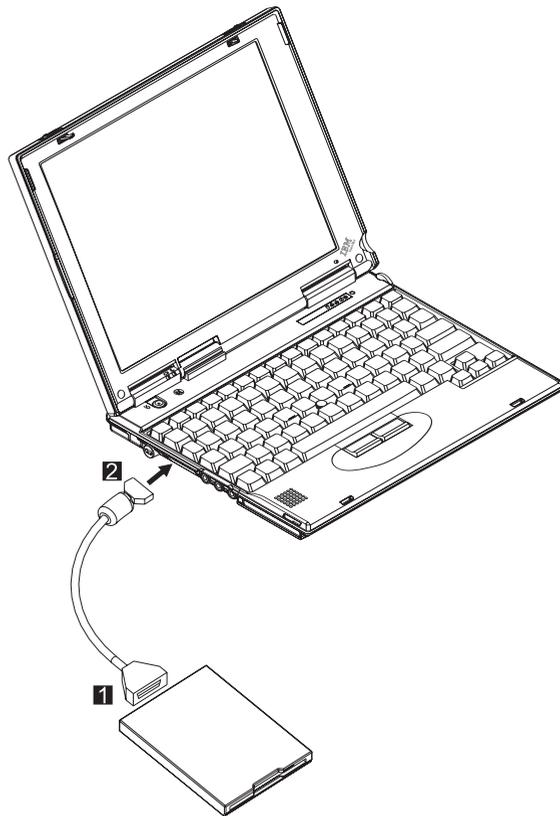
外付け FDD ドライブの接続

ここでは、ThinkPad を外付け FDD に接続する方法を説明します。

外付け FDD ドライブを使用すると、3.5 インチ・ディスクが使用できるようになります。

外付け FDD ドライブを接続する手順は、次のとおりです。

1. FDD ケーブルを外付け FDD ドライブ **1** に接続します。



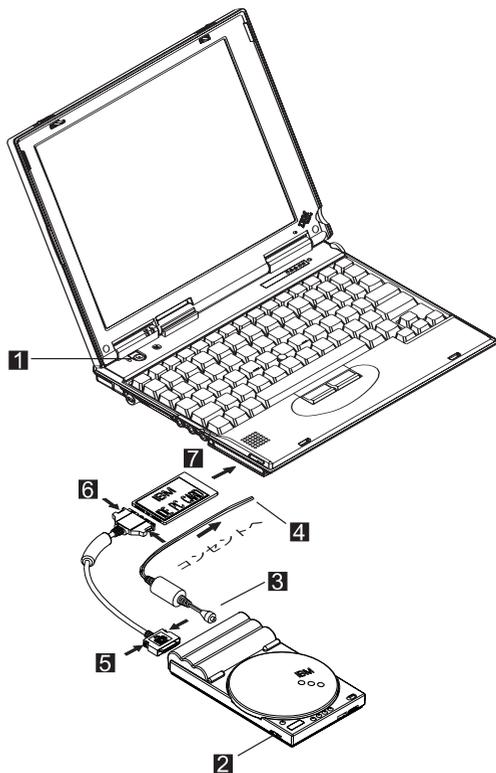
2. FDD ケーブルのもう一方の端を ThinkPad 240 上のコネクター **2** に接続します。

外付け CD-ROM ドライブの接続

ThinkPad 240 には IBM ポータブル CD-ROM ドライブ CD-20X を使用することができます。ここでは、ThinkPad への CD-ROM ドライブの接続と、CD-ROM ドライバーのインストールについて説明します。

ThinkPad 240 への CD-ROM ドライブの接続

CD-ROM ドライブを ThinkPad 240 に接続するには、次の図と説明を参照してください。



1. ThinkPad 240 **1** と CD-ROM ドライブ **2** の電源スイッチがオフであることを確認します。
2. AC アダプターを CD-ROM ドライブ **3** と電源コンセント **4** に接続します。

3. インターフェース・ケーブル上の小さいコネクターの両端をつかみ、それを CD-ROM ドライブ **5** のインターフェース・コネクターに接続します。
4. インターフェース・ケーブル上の大きい方のコネクターの両端をつかみ、それを PC カード **6** 上のコネクターに接続します。

考慮事項:

インターフェース・ケーブルと PC カードの挿入と取り外しは慎重に行ってください。インターフェース・ケーブル上のコネクターは、1 つの決まった位置でしか挿入できない設計になっています。したがって、逆さまの場合は挿入できません。コネクターを逆さまのまま無理に挿入しようとすると、コネクターを損傷するおそれがあります。ケーブル・コネクターのピンの位置は、必ずインターフェース・コネクターの穴の位置とそろえます。位置合わせを正しく行わずに、無理に接続しようとすると、コネクターを損傷する場合があります。また、PC カードを挿入するときに、力を入れ過ぎると、そのカードが ThinkPad 240 を損傷する場合があります。

5. PC カードを ThinkPad 240 の PC カード・スロット **7** に差し込みます。65ページの『PC カードの取り付け』を参照してください。

CD-ROM デバイス・ドライバーのインストール

ポータブル CD-ROM ドライブ CD-20X を ThinkPad で動作させるには、最初にデバイス・ドライバーをインストールしておく必要があります。CD-ROM ドライブのユーザーズ・ガイドの説明をよく読んで作業を行ってください。

外付けディスプレイの接続

ここでは、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイの使用法について説明します。また、DOS のアプリケーションを使用する場合の考慮事項についても記述します。

ThinkPad の LCD は TFT (Thin-Film Transistor) テクノロジーを採用しています。この LCD ディスプレイは、SVGA (800x600 の解像度) のビデオ・モードで、1,677 万色を出力します。

VGA モードよりも高解像度をサポートする外付けディスプレイを接続すれば、最大 1024x768 の解像度で表示できます。

外付けディスプレイを接続する手順は、次のとおりです。

1. 外付けディスプレイを ThinkPad の背面にある外付けディスプレイ・コネクタ
—  に接続してから、電源コンセントに接続します。
2. ディスプレイをオンにします。
3. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。(32ページの『ThinkPad 機能設定プログラム』を参照してください。)
4. 「LCD と CRT ディスプレイ両方」  ボタンか「CRT ディスプレイ単独」  ボタンをクリックして、表示先を変更します。

注:

1. VGA モード (640x480の解像度) のみをサポートする外付けディスプレイを接続する場合は、「LCD と CRT ディスプレイ両方」を選択しないでください。選択すると、外付けディスプレイの画面が乱れて出力が表示されなかったり、ディスプレイの画面が損傷することもあります。代わりに「CRT ディスプレイ単独」を使用してください。
2. ディスプレイの表示先は **Fn** + **F7** を押すことによっても変更することができます。
3. 次のようにして、ディスプレイの表示先とディスプレイ・デバイス・ドライバーを設定します。

SVGA ディスプレイを接続する場合、サポートされるカラーや解像度に関する詳細は、62ページの『表示モード』を参照してください。

- a. 「LCD」ボタン () をクリックして「ディスプレイ・プロパティ」ボタンをクリックするか、「外付けディスプレイ」ボタン () をクリックすると、「画面のプロパティ」ウィンドウが開きます。
 - b. 「設定」タブをクリックして「詳細」ボタンをクリックすると、「NeoMagic MagicGraph 128XD のプロパティ」ウィンドウが開きます。
 - c. 「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリックし、使用する外付けディスプレイを設定します。
4. ThinkPad を再起動して、新しい設定を有効にします。

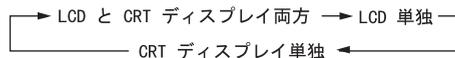
ディスプレイの表示先の変更

考慮事項: ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示先を変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示先を変更してください。

「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用して、ディスプレイの表示先を変更することができます。次の表示先から、どれかを選択してください。

- LCD 単独 (): ThinkPad の出力は、ThinkPad の LCD のみに表示されます。
- CRT ディスプレイ単独 (): ThinkPad の出力は、接続された外付けディスプレイのみに表示されます。
ThinkPad に外付けディスプレイが接続されていないときに、表示先を「CRT ディスプレイ単独」に設定すると、出力は LCD に表示されます。
- LCD と CRT ディスプレイ両方 (): ThinkPad の出力は、LCD と接続された外付けディスプレイの両方に表示されます。

ディスプレイ表示先は、**Fn** キー機能を使用して変更することもできます。**Fn** キーを押しながら、**F7** キーを押してください。ThinkPad の出力は、次の順で切り替わります。

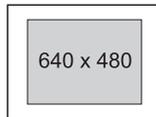


重要

ThinkPad がサスペンド状態またはハイバネーション状態のときに ThinkPad から外付けディスプレイを取り外さないでください。ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、LCD には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度も同様です。

LCD 上の DOS 画面に関する考慮事項

ThinkPad で、VGA モード (640x480の解像度) のみをサポートしている DOS アプリケーションを使用すると、下図のように画面サイズより小さく見える場合があります。



これは、ThinkPad が DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズに拡大するには、*画面拡張* 機能を使用します。画面イメージを拡大するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムの LCD ボ

タン() をクリックし、「スクリーン・エクспанション」を使用可能にし、そして「OK」をクリックします。ただし、表示されるイメージは、実際のイメージと多少異なって見える場合があります。

表示モード

ThinkPad 240 コンピューターは、SVGA (800x600 の解像度) ビデオ・モードをサポートする LCD を備えています。次の表は、ThinkPad または外付けディスプレイで表示可能な表示モード (解像度および色数) を示しています。この表を使用して、表示先 (「LCD 単独」、「CRT ディスプレイ単独」、または「LCD と CRT ディスプレイ両方」) を設定してください。

注: オペレーティング・システムをインストールする場合、SVGA モードを使うには ThinkPad 用のディスプレイ・ドライバーをインストールする必要があります。

- 出力を LCD または LCD と外付けディスプレイの両方に表示する場合(「**LCD 単独**」または「**LCD と CRT ディスプレイ両方**」)

解像度	サポートされる色数
640x480 (VGA)	16、256、65,536、および 16,777,216
800x600 (SVGA)	256、65,536、および 16,777,216

- 出力を外付けディスプレイに表示する場合 (「**CRT ディスプレイ単独**」)

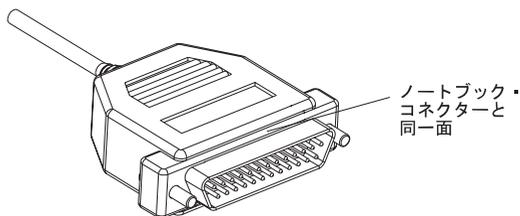
解像度	サポートされる色数	フレーム速度
640x480 (VGA)	16	60 Hz、75 Hz、または 85 Hz
	256	
	65,536	
	16,777,216	
800x600 (SVGA)	256	60 Hz、75 Hz、または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
1024x768 (XGA)	256	60 Hz、70 Hz、75Hz
	65,536	

注: 外付け LCD の製品によっては、解像度や色数が制限されていることがあります。

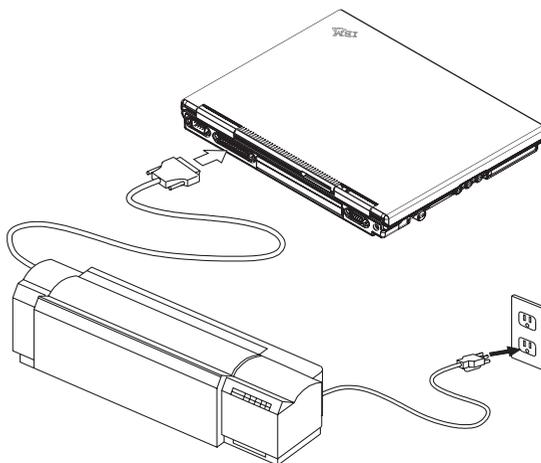
プリンターの接続

セントロニクス** 準拠インターフェースを備えたパラレル・プリンターを、コンピューター背面にある 25 ピン、パラレル・コネクタに接続することができます。プリンターのメーカーに ThinkPad で使用できることを確認の上、プリンター付属の説明書にしたがって、デバイス・ドライバをインストールしてください。なお、BIOS セットアップ・ユーティリティや「ThinkPad 機能設定」プログラムなどを使用して、パラレル・ポートが「使用可能」になっていることを確認してください。

注: 最適なパラレル・インターフェース・ケーブルあるいはシリアル・インターフェース・ケーブルのコネクタは、接続時にノートブック・コネクタと同一面になるものです。一部のコネクタの場合、プラスチック製のリップが付いていて、そのためにパラレル・コネクタがノートブックから離され、結果的に接続がうまくいかないことがあります。



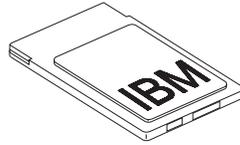
1. 以下に示されているようにプリンターを接続します。



2. プリンターをオンにします。

PC カードの取り付け

ここでは、PC カードを取り付けて使えるようにします。

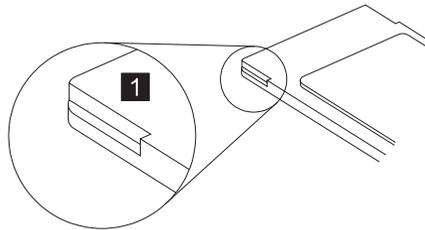


ThinkPad には PC カード・スロットが 1 つあり、次のタイプのカードをサポートします。

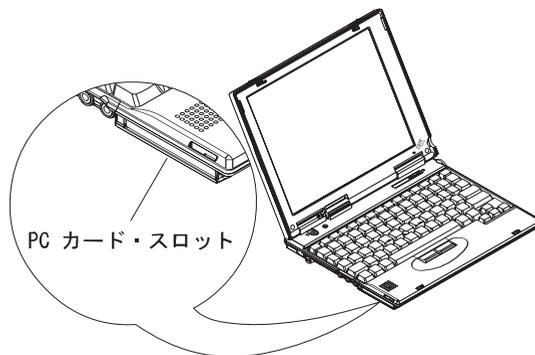
- タイプ II PC カード
- CardBus

ThinkPad を PC カードに取り付けるには、以下のようにします。

1. 図のように、PC カードの切り込み **1** のある側を探します。



2. PC カード・スロットに PC カードを差し込みます。



3. PC カードをスロットにしっかりと差し込みます。

ウィンドウが表示され、新しいカードに関する情報を知らせます。

注: PC カード・ドライバーをインストールしていない場合、Windows 98 は「PCMCIA カード・サービス・ウィザード」を始動して、PC カード・ドライバーをインストールします。画面の指示に従ってください。

これで、PC カードの取り付けが完了しました。すぐに PC カードを使うことができます。PC カード・ソフトウェアの使用方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド

PC カードの取り外し

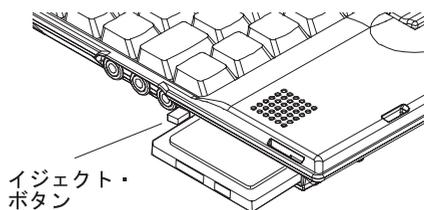
PC カードを取り外す前に、それを停止しておく必要があります。さもないと、システムが動かなくなったり、あるいはデータの破壊または喪失が生じる場合があります。

1. カードを停止します。

PC カードを停止するには、タスクバーの右側にある PC カードのアイコンを見つけてクリックし、次に「停止」をクリックします。詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

注: CardSoft モードにあるとき、またはカードがすでに停止されている場合、「停止」オプションは灰色で表示されます。

2. PC カード・イジェクト・ボタンを押して、飛び出させます。次に、PC カード・イジェクト・ボタンを押して、PC カードを取り出します。
3. 安全な場所に PC カードを保管します。



PC カードの使用に関する詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

本章では、ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。

- パスワードの使用 68
 - パスワードの入力 69
 - パスワードの設定 70
 - パスワードの変更と消去 71
- ロック機能の使用 72

パスワードの使用

ThinkPad には、使用許可を受けていない人が勝手にアクセスできないようパスワード設定機能が付いています。パスワードが設定されると、ThinkPad の電源を入れるたびにパスワード・プロンプトが画面に表示され、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードが入力されないと、ThinkPad を使うことはできません。ThinkPad には、次のパスワードを設定することができます。

- 始動パスワード

始動パスワードは、使用許可を受けていない人が勝手に ThinkPad を使うのを防ぐためのものです。以下のセキュリティー機能が提供されています。

- ThinkPad の起動中、始動時に始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。
- サスペンド・モードから通常の操作を再開するときにも始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。

- ハード・ディスク・パスワード

ハード・ディスク・パスワードは、セキュリティー機能の追加機能です。たとえば、始動パスワードを設定していたとしても、その ThinkPad のハード・ディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付ければ、ハード・ディスク内のデータにアクセスすることができます。しかし、ハード・ディスク・パスワードを設定していれば、そのパスワードを知らない人は、ハード・ディスク・ドライブ内のデータにアクセスできなくなります。以下の機能が提供されています。

- ThinkPad の起動中、始動時にハード・ディスク・パスワードを入力する必要があります。
- ハード・ディスク・ドライブが他の ThinkPad に移動されていても、ハード・ディスク・ドライブ・パスワードを始動時に入力しなければなりません。したがって、たとえハード・ディスク・ドライブが ThinkPad から取り外されても、使用許可を受けていない人はハード・ディスク・ドライブにアクセスできないこととなります。

注： システム管理者が、ハード・ディスク・パスワードを解除することもできます。

- スーパーバイザー・パスワード

スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者用のツールで、多くの ThinkPad を管理するために使われます。スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、スーパーバイザー・パスワードを知らなくても ThinkPad を起動することができます。スーパーバイザー・パスワードは BIOS セットアップ・ユーティリティーにアクセスする場合にのみ必要です。以下のセキュリティー機能が提供されています。

- システム管理者のみが BIOS セットアップ・ユーティリティーにアクセスすることができます。スーパーバイザー・パスワードが設定されていると、BIOS セットアップ・ユーティリティーを始動しようとするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。
 - システム管理者は、同一のスーパーバイザー・パスワードを複数の ThinkPad に設定し、管理しやすくすることができます。
- その他のパスワード

一部の Microsoft のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、使用方法については、オペレーティング・システムのユーザーズ・ガイドを参照してください。

パスワードの入力

始動パスワードを設定すると、画面の左上隅にパスワード・プロンプト () が表示されます。このプロンプトは、ThinkPad の電源をオンにするたびに、またはサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るたびに表示されます。

パスワードを入力する手順は、次のとおりです。

1. パスワードを入力します。

パスワードを入力するときは指をキーからすばやく離してください。1 つのキーを長く押し続けると、同じ文字が繰り返し入力されてしまいます。

2. **Enter** キーを押します。

正しいパスワードを入力すると「OK」が表示され、誤ったパスワードを入力すると「X」が表示されます。パスワードを 3 回間違えた場合は、ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってから、電源をオンにして入力してください。

パスワードの設定

始動パスワード、ハード・ディスク・パスワード、またはスーパーバイザー・パスワードを設定する手順は、次のとおりです。

1. ThinkPad を再始動します。
2. IBM ロゴが表示されたら、**[F1]** を押して BIOS セットアップ・ユーティリティに入ります。
3. **Password** を選択し、**[Enter]** を押します。"Password" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility						
Password				Item Specific Help		
Set Power-On Password	[Enter]					
Set Hard Disk 1 Password	[Enter]					
Set Supervisor Password	[Enter]					
F1 Help	Select Item	Space/-	Change Values	F9	Setup Defaults	
F3/Esc Exit	Select Menu	Enter	Select Sub-Menu	F10	Save and Exit	

- **Set Power-On Password**。これを選択すると、始動パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
 - **Set Hard Disk 1 Password**。これを選択すると、ハード・ディスク・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
 - **Set Supervisor Password**。これを選択すると、スーパーバイザー・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
4. 設定しようとするパスワードのタイプを選択し、**[Enter]** を押します。"Set Password" ウィンドウが表示されます。
 5. 希望するパスワードを入力し、**[Enter]** を押します。

注: 英文字 (A~Z) と数字 (0~9) を組み合わせて、7 文字以内の任意の文字を使用できます。大文字と小文字 (たとえば A と a) は、同じ文字として扱われます。

パスワードを誤って入力してしまった場合は、**Backspace** キーを使用して消去し、パスワードを正しく入力し直してください。

6. ユーザーのパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行います。

注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードを忘れないでください

ハード・ディスク・パスワードやスーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定することも、ハード・ディスクからデータを復元することもできません。IBM 特約店または IBM 営業担当員に ThinkPad をお持ちいただき、ハード・ディスクまたはシステム・ボードを交換していただくこととなります。このサービスを受けるには、購入を証明するものが必要であり、有料となります。IBM 特約店や IBM 営業担当員でも、ハード・ディスク・ドライブを使用可能にすることはできません。

パスワードの変更と消去

この機密保護機能は、他人が勝手にパスワードを消去し、ThinkPad を使用することを防いでいます。パスワードを変更または消去する手順は、次のとおりです。

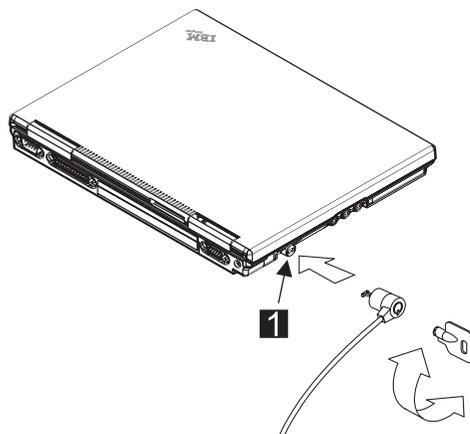
1. ThinkPad を再始動します。
2. IBM ロゴが表示されたら、**F1** を押して BIOS セットアップ・ユーティリティに入ります。
3. **Password** を選択し、**Enter** を押します。"Password" サブメニューが表示されます。
4. 変更または消去するパスワードのタイプを選択し、**Enter** を押します。ウィンドウが表示されます。
5. 現在のパスワードを入力し、**Enter** を押します。
6. 希望するパスワードを入力し、**Enter** を押します。
注: パスワードを消去したい場合は、何も入力しないでおきます。
7. ユーザーのパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行います。

注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

ロック機能の使用

ThinkPad の不正使用防止のため、ThinkPad にセキュリティー・システム・ロックを取り付けることができます (セキュリティー・システム・ロックは付属していません)。

セキュリティー・システム・ロックを ThinkPad 左側面のセキュリティー・キーホール **1** につなげ、ロックの鎖を安全で動かないものにつなぎます。



注: セキュリティー・システム・ロック装置と機密保護機能の評価、選択、取り付けはお客様で行っていただきます。IBM では、その機能性、品質、性能についての言及、評価、保証は行いません。

よく聞かれる質問とその答え	74
ヒントおよび制限事項	82
USB コネクタに関する考慮事項	82
外付けコンデンサー・マイクロホンの使用	82
問題判別ガイド	82
問題判別表	83
エラー・コードまたはメッセージ	84
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	87
入力装置の問題	88
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	90
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	92
インジケータの問題	94
バッテリーの問題	94
HDD の問題	96
赤外線通信の問題	96
オーディオの問題	98
汎用シリアル・バス (USB) の問題	98
モデムの問題	99
PC カードの問題	101
プリンターの問題	102
外付けディスプレイの問題	103
その他のオプションの問題	105
ソフトウェアの問題	106
その他の問題	107
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	108

よく聞かれる質問とその答え

ここでは、よく聞かれる質問とその答えについて記述します。次の表で示すページに進み、そこで指示された処置をとってください。

質問	ページ
画面が消えるのを止める方法	76
赤外線ポートの設定方法	76
シリアル・ポートの設定方法	77
トラックポイントとマウスの切り替え方法	78
ディスプレイの解像度の設定方法	79
外付けディスプレイの設定方法	80
バッテリーの寿命を最大限にする方法	81
オペレーティング・システムのインストール方法	81
リカバリー CD の使用方法	81

ここで扱う問題を解決するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用する必要があります。「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動するには、「スタート」をクリックします。カーソルを「プログラム」、「**ThinkPad**」の順に移動してから、「**ThinkPad 機能設定**」をクリックします。

「ThinkPad 機能設定」プログラムのウィンドウが表示されます。



画面を消したくないときでも消えます。どのようにすれば、消えないようにできますか？

「ThinkPad 機能設定」プログラムで、LCD オフ・タイマーまたは電源管理モード・タイマーなどのシステム・タイマーを使用不可に設定することができます。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
 2. 「スクリーン・ブランキングを使用不可能にする」  アイコンをクリックします。
-

どのようにすれば、赤外線ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

ThinkPad の赤外線ポートは、シリアル・ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、ThinkPad の赤外線ポートを使用不可にすることができます。赤外線ポートを使用不可にしている場合は、次に赤外線ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。赤外線ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
3. 「赤外線」  アイコンをクリックします。
4. 「使用可能」をクリックします。

ハードウェア資源が他の通信デバイスで使用されていることを示す「警告」が表示される場合があります。

5. 「OK」をクリックします。ThinkPad が再起動します。

注： 赤外線ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用することができます。

赤外線ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使うことができます。正しく作動しない場合は、システム上の通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

どのようにすれば、シリアル・ポートを通信ポートとして使用することができますか？

ThinkPad のシリアル・ポートは、赤外線ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、ThinkPad のシリアル・ポートを使用不可にすることができます。シリアル・ポートを使用不可にしている場合は、次にシリアル・ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。シリアル・ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
3. 「シリアル・ポート」  アイコンをクリックします。
4. 「使用可能」をクリックします。

ハードウェア資源が他の通信デバイスで使用されていることを示す「警告」が表示される場合があります。

5. 「OK」をクリックします。ThinkPad が再起動します。

注: シリアル・ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用することができます。

シリアル・ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使うことができます。正しく作動しない場合は、システム上の通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

オフィスではマウスを外付けで使用し、それ以外ではトラックポイントを使用するには、どうすればよいですか？

シリアル・マウスの場合:

シリアル・マウスは以下のようにして使用します。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. シリアル・マウスを接続します。
3. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

4. 「トラックポイント」 アイコンをクリックします。
5. 「使用不可」を選択します。
6. 「OK」をクリックします。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

2. 「トラックポイント」 アイコンをクリックします。
3. 「使用可能」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。
5. シリアル・マウスを切り離します。

シリアル・マウスまたは **PS/2** マウス以外の外付けマウスの場合:

外付けマウスは以下のようにして使用します。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
2. ThinkPad の電源をオフにします。
3. 外付けマウスを接続します。
4. ThinkPad の電源をオンにします。

トラックポイントは自動的に使用不可となります。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。

1. 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
 2. ThinkPad の電源をオフにします。
 3. 外付けマウスを切り離します。
 4. ThinkPad の電源をオンにします。
-

LCD と外付けディスプレイを同時に使っているときは、外付けディスプレイから最高解像度で表示できません。なぜですか？

ThinkPad 本体の LCD と外付けディスプレイの両方に任意の解像度を設定することができます。ただし、両方を同時に使っている場合、2 つの解像度は同じものになります。ThinkPad 本体の LCD により高い解像度を設定すると、1 度に見られるのは画面の一部だけになってしまいます。画面の他の部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。画面の出力先は、「ThinkPad 機能設定」プログラムの「ディスプレイ装置」アイコンを使って、「LCD 単独」、「CRT ディスプレイ単独」、または「LCD と CRT ディスプレイ両方」のどれかに変更できます。また、**Fn** + **F7** キーの組み合わせでも、出力先を変更することができます。

外付けディスプレイを設定する手順は、次のとおりです。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
 2. 「外付けディスプレイ」  アイコンをクリックします。「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 3. 「設定」タブをクリックします。
 4. 「詳細」 ボタンをクリックします。
 5. 「モニタ」タブをクリックします。
 6. 「変更」ボタンをクリックします。
 7. ご使用のディスプレイの「製造元」 および「モデル」を選択します。
 8. 「OK」をクリックしてから、「閉じる」をクリックします。
 9. 「画面のプロパティ」ウィンドウで、「色」と「画面の領域」を設定します。
 10. 「OK」をクリックします。
-

Windows のプラグ・アンド・プレイ機能が外付けディスプレイを検出しない場合、どのようにして外付けディスプレイを設定したらよいですか？

次の手順に従ってください。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
 2. 「外付けディスプレイ」  アイコンをクリックします。「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 3. 「設定」タブをクリックします。
 4. 「詳細」 ボタンをクリックします。
 5. 「モニタ」タブをクリックします。
 6. 「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」がチェックされていることを確認します。
 7. このオプションがチェックされているにもかかわらず、再起動後もディスプレイが認識されない場合は、「変更」をクリックします。
 8. ご使用のディスプレイの「製造元」 および「モデル」を選択します。
 9. 「OK」をクリックしてから、「閉じる」をクリックします。
 10. ThinkPad の再起動を要求するメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
-

どのようにすれば、バッテリーの寿命を最大限に使用することができますか？

バッテリーの寿命を最大限に使用する手順は、次のとおりです。

- バッテリー電源だけでバッテリーが完全に空になるまで (充電と電源インジケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
- 使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターが接続された状態で充電され、バッテリーの LED が緑になったとき、バッテリーはフル充電されたことになりません)。
- 新しいバッテリーや、長い期間使用しなかったバッテリーの場合は、次の手順に従ってください。
 1. バッテリー電源だけでバッテリーが完全に空になるまで (充電と電源インジケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
 2. 使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターが接続された状態で充電され、バッテリーの LED が緑になったとき、バッテリーはフル充電されたことになりません)。
 3. 上記のステップを 3 回繰り返します。
- 常に、電源管理機能 (APM)、パワー・モード、スタンバイ・モード、サスペンド・モード、ハイバネーション・モードなどの省電力管理機能をいつも使うようにしてください。
- 省電力管理機能の詳細  ステップ・アップ・ガイド

どのようにすれば、**ThinkPad** に別のオペレーティング・システムをインストールできますか？

--または--

現在使用しているオペレーティング・システム用の **ThinkPad** デバイス・ドライバーは、どこで入手できますか？

新しいオペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール方法については、ステップ・アップ・ガイドを参照してください。新しいオペレーティング・システムをインストールする前に、次の作業を行ってください。

- ステップ・アップ・ガイドのソフトウェアのインストールの章を参照します。

リカバリー **CD** を使って、**ThinkPad** に出荷時のオペレーティング・システムとアプリケーションを再ロードするにはどうしたらよいですか？

ステップ・アップ・ガイドの「ThinkPad を購入時の状態に回復するには」を参照してください。

ヒントおよび制限事項

ここでは、ヒントおよび制限事項について記述します。



Windows 98 および **Windows 95** の場合:

Intel USB カメラを使用している場合、サスペンド・モードから通常操作を再開すると、USB カメラが使用できなくなります。USB カメラを使用可能にするには、いったんそれを取り外し、もう一度接続してください。



Windows NT の場合:

ハイパネーションはサポートされていません。

USB コネクターに関する考慮事項

ThinkPad がサスペンド・モードに入ろうとしてもそれが拒絶される場合には、USB コネクターのデバイスが使用不可となっている可能性があります。これが発生した場合は、USB デバイスのホット・アンプラグおよびホット・プラグを実施してください。

外付けコンデンサー・マイクロホンの使用

マイクロホン入力ジャックは、バッテリーを必要とするタイプのコンデンサー・マイクロホンをサポートします。マイクロホンに付属の説明書を参照してください。

問題判別ガイド

ビープ音が鳴った場合、メッセージが表示された場合、または機能に関する問題が発生した場合:

1. 表から症状を見つけ、問題の解決を試みます。➡ 83ページの『問題判別表』
 2. 問題を解決できない場合には、エラー・コードをメモし、ThinkPad の修理を依頼します。➡ 109ページの第5章、『サービス体制』
-

ThinkPad 内のソフトウェアを誤って消してしまったり、損傷してしまった場合:

導入済みアプリケーション CD またはリカバリー CD を使って復元します。➡ 108ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』

問題判別表

ThinkPad にエラーが発生すると、通常、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ピーブ音が鳴ります。問題判別表から発生した問題を探してください。問題が見つかった場合は、対応するページに進み、そこで指示されている処置をとってください。

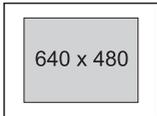
問題判別表	ページ
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	84
エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題	87
入力装置の問題	88
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	90
LCD の問題	92
インジケーターの問題	94
バッテリーの問題	94
ハード・ディスク・ドライブの問題	96
赤外線通信の問題	96
オーディオまたは電話回線の問題	98
汎用シリアル・バス (USB) の問題	98
モデムの問題	99
PC カードの問題	101
プリンターの問題	102
外付けディスプレイの問題	103
その他のオプションの問題	105
ソフトウェアの問題	106
その他の問題	107

エラー・コードまたはメッセージ

注: この表の中の x は、任意の文字を表します。

問題	処置
0200 (ハード・ディスクのエラー)	ハード・ディスクが作動していません。ハード・ディスク・ドライブがしっかり取り付けられているか確認します。BIOS セットアップ・ユーティリティーを実行してから、ハード・ディスク・ドライブが正しく識別されているか確認します。
021x (キーボードのエラー)	<p>システム・キーボードまたは外付けキーボードの上に何も置かれていないことを確認してください。ThinkPad の本体および接続されているすべてのデバイスの電源をオフにしてください。まず、ThinkPad の電源をオンにしてから、次に、接続されているデバイスをオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、次の処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none">外付けキーボードが接続されている場合:<ul style="list-style-type: none">ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを外してから、ThinkPad の電源をオンにします。システム・キーボードが正しく作動するかどうかを確認します。正しく作動する場合は、外付けキーボードの修理を依頼します。それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。キーボード / マウス・コネクタを使用した接続の場合には、外付けキーボードが正しいコネクタに接続されていることを確認します。
0220 (モニター・タイプのエラー)	ディスプレイ・タイプが CMOS と一致しません。BIOS セットアップ・ユーティリティーを実行して、構成を検査してください。
0230 (シャドウ RAM エラー)	<p>シャドウ RAM に障害が起きました。</p> <p>ThinkPad の電源をオンにする直前にメモリーを増設した場合は、SoDIMM の取り付けをやり直します。</p>
0231 (システム RAM エラー)	<p>システム RAM に障害が起きました。</p> <p>ThinkPad の電源をオンにする直前にメモリーを増設した場合は、SoDIMM の取り付けをやり直します。</p>
0232 (拡張 RAM エラー)	<p>拡張 RAM に障害が起きました。</p> <p>ThinkPad の電源をオンにする直前にメモリーを増設した場合は、SoDIMM の取り付けをやり直します。</p>
0250 (システム・バッテリーのエラー)	<p>システム・バッテリーがデッドしました。バッテリーを交換し、BIOS セットアップ・ユーティリティーを実行して、構成を検査してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

問題	処置
0251 (不正なシステム CMOS チェックサム)	システム CMOS が、アプリケーション・プログラムによって破壊された可能性があります。ThinkPad はデフォルトの設定値を使用します。BIOS セットアップ・ユーティリティを実行して、設定値を再構成します。 それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
0252 (不正なパスワード・チェックサム)	設定されたパスワードが消去されています。BIOS セットアップ・ユーティリティを実行して、パスワードを設定します。
0260 (システム回線エラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
0270 (リアルタイム・クロックのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
0271 (日時エラー)	ThinkPad で日付も時刻も設定されていません。BIOS セットアップ・ユーティリティを使って日付と時刻を設定します。
0280 (直前のブート不完了 -- デフォルト構成使用)	ThinkPad は直前のブート処理が完了できませんでした。ThinkPad の電源をオフにしてから、オンにして、BIOS セットアップ・ユーティリティを始動します。構成を検査します。 同じメッセージが表示される場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
02D0 (システム・キャッシュ・エラー)	キャッシュが使用不可です。ThinkPad の修理を依頼してください。
02F4 (EISA CMOS が書き込み不能)	ThinkPad の修理を依頼してください。
02F5 (DMA テストの失敗)	ThinkPad の修理を依頼してください。
02F6 (ソフトウェア NMI の障害)	ThinkPad の修理を依頼してください。
02F7 (フェールセーフ・タイマー NMI の障害)	ThinkPad の修理を依頼してください。
始動パスワード・プロンプト 	始動パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください(69ページの『パスワードの入力』を参照)。 それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。

問題	処置
<p>ハード・ディスク・ドライブ・パスワード・プロンプト</p> 	<p>ハード・ディスク・ドライブ・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください(69ページの『パスワードの入力』を参照)。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>DOS 全画面が小さく見える</p> 	<p>640x480 の解像度 (VGA モード) だけをサポートしている DOS アプリケーションを使用すると、画面イメージが多少ゆがんで見えたり、実際のディスプレイ・サイズより小さく見える場合があります。これは、ThinkPad が他の DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズにするには、</p> <p>「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し、「LCD」  をクリックしてから、「スクリーン・エクспанション」機能を「使用可能」にします。(イメージは、多少ゆがんで見える場合があります。)</p>
<p>バッテリー切れエラー</p>	<p>バッテリー切れのため、ThinkPad の電源がオフになります。</p> <p>ThinkPad に AC アダプターを接続して、バッテリー・パックを充電するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。</p>
<p>ハイバネーション・エラー</p>	<p>システム構成が、ThinkPad がハイバネーション・モードに入ったときと、このモードから出たときで異なっていて、ThinkPad が通常の操作に戻れません。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム構成を、ThinkPad がハイバネーション・モードに入る前の構成に変更します。 メモリー・サイズが変更されている場合は、ハイバネーション・ファイルを再作成します。
<p>オペレーティング・システムが検出されない。</p>	<p>次を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハード・ディスク・ドライブがしっかり取り付けられているか。 起動可能なディスクがディスク・ドライブに入っているか。 <p>それでも問題が解決しない場合は、BIOS セットアップ・ユーティリティー内の始動優先順位をチェックします。</p>

エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題

問題	処置
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴らない。</p> <p>注: ピープ音が鳴ったかどうか不確かな場合は、ThinkPad の電源をいったんオフにしてから、オンにし、ピープ音が鳴るかどうかをもう一度確認してください。</p> <p>外付けディスプレイを使用している場合は、103ページの『外付けディスプレイの問題』に進んでください。</p>	<p>始動パスワードが設定されている場合は、任意のキーを押して始動パスワード・プロンプトを表示してから、正しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。</p> <p>始動パスワードが設定されていても表示されない場合は、ThinkPad の輝度調節つまみが最小輝度に設定されている可能性があります。輝度を調整します。それでも画面に何も表示されない場合は、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• バッテリー・パックは正しく取り付けられていますか。• AC アダプターが ThinkPad に接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。• ThinkPad の電源がオンになっていますか。(確認のため、電源スイッチをもう一度オンにしてください。) <p>それでも画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴り続けるか、ピープ音が 2 回以上鳴る。</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>カーソルしか表示されない。</p>	<p>オペレーティング・システムを再インストールし、ThinkPad の電源をオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

入力装置の問題

問題	処置
ThinkPad が省電力モードのいずれかから通常の操作状態に戻ったとき、カーソルが動かない。	Windows を電源管理機能 (APM) オプション付きでインストールしたとき、ステップ・アップ・ガイドの指示どおり正しく行ったかどうか確認してください。
ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻った直後にこの問題が発生した場合は、始動パスワードを入力してください。始動パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。 • 外付けキーボードが接続されているときは、ThinkPad 本体のキーボードの数値キーパッドは作動しません。これは故障ではありません。 • マウスが接続されている場合: <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. マウスを取り外します。 3. ThinkPad の電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。 これによってキーボードの問題が解決した場合は、外付けキーボード、またはマウスの接続を調べてください。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったとき、カーソルがドリフト (浮動) する。	<p>通常の操作状態でトラックポイントを使わない場合は、カーソルがドリフトする場合があります。これは、トラックポイントの特性の 1 つであって、故障ではありません。ドリフトは、以下の場合に数秒間発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源をオンにしたとき。 • ThinkPad が通常の操作状態に戻ったとき。 • トラックポイントを長時間使用し続けたとき。 • 環境温度が変化したとき。
「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウの設定値を変えた後、しばらくの間カーソルが作動しない。	これは、カーソルの通常の特性です。数秒待てば、カーソルは通常の状態に戻ります。

問題	処置
PS/2 マウスまたはポインティング・デバイスが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • シリアル・マウスを使っていない場合は、ポインティング・デバイスが「ThinkPad 機能設定」プログラムで使用可能になっているか確認してください。 • マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが ThinkPad にしっかりと正しい場所に接続されているか確認してください。 • トラックポイントを操作してみてください。トラックポイントが作動する場合は、マウスに問題がある可能性があります。 • 使っているマウスが IBM PS/2 マウスと非互換の場合は、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使ってトラックポイントを使用不可にします。 <p>注: 詳細については、マウスに付属のマニュアルを参照してください。</p>
シリアル・マウスが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • BIOS でトラックポイントが使用不可になっているか確認します。21ページの『Config』を参照してください。 • シリアル・マウス独自のドライバーがある場合は、そのドライバーのインストールが正しく行われているか確認します。詳しくは、シリアル・マウスのユーザーズ・ガイドを参照してください。
マウス・ボタンが作動しない。	<p>マウス・ドライバーを「PS/2 互換マウス・ポート」に変更してから、「PS/2 TrackPoint」を再インストールします。ドライバーのインストール方法については、ステップ・アップ・ガイドを参照してください。</p>
英文字を入力するのに数字が表示される。	<p>ナム・ロック機能が有効になっています。ナム・ロック機能を解除するには、[Fn] キーを押しながら [NumLk] キーを押してください。</p>
外付けキーボードの全部または一部が作動しない。	<p>外付けキーボードを使用するには、キーボード/マウス・コネクターを使って、または直接 ThinkPad に接続します。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キーボード・ケーブルが正しく ThinkPad に接続されていますか(キーボードが ThinkPad に直接接続されている場合)。 • キーボード/マウス・コネクターが ThinkPad に正しく接続されていますか。 • キーボード・ケーブルが、キーボード/マウス・コネクターの正しい側に接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がない場合は、キーボード/マウス・コネクターを ThinkPad から取り外し、ThinkPad 本体のキーボードが正しく作動するかを確認してください。ThinkPad 本体のキーボードが作動する場合は、キーボード/マウス・コネクターまたは外付けキーボードの修理を依頼してください。</p>

サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題

問題	処置
ThinkPad が自動的にサスペンド・モードに入る。	プロセッサの温度が許容の温度を超えると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードに入ります。これは故障ではありません。
高温の環境では、ThinkPad のパフォーマンスが低下する。	次の場合、プロセッサ速度が低下することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用する環境温度が高いとき。 • 高電力消費を必要とする高電力処理を実行するとき。 これは故障ではありません。
POST 後ただちに ThinkPad がサスペンド・モードに入る (サスペンド・インジケータがオンになる)。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー・パックは充電されていますか。 • 環境温度が許容される範囲内にありますか。ユーザーズ・リファレンスを参照してください。 上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
ThinkPad はオンになるが、即時オフになる。	バッテリー・パックのバッテリー残量が少なくなっています。ThinkPad に AC アダプターを接続するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。
ThinkPad がサスペンド・モードから戻らない、または、サスペンド・インジケータがオンになったままで ThinkPad が作動しない。	バッテリー・パックが空になると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。次のいずれかの処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad に AC アダプターを接続します。 2. フル充電したバッテリー・パックに交換してから、Fn キーを押します。
通常の操作状態に戻ったときに LCD に何も表示されない。	サスペンド・モードに入る前に、外付けディスプレイが接続されていなかったことを確認してください。 ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。 ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、 LCD には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度でも同様です。
ThinkPad が、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにならない。	サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードが使用不可になっていないかを確認してください。 <p>ハイバネーション・ファイルが作成されているかどうかを確認します(ステップ・アップ・ガイドを参照してください)。</p>

問題	処置
<p>ThinkPad が Fn キー+ F9 キーの組み合わせでハイバネーション・モードにならない。</p>	<p>ハイバネーション・ファイルが作成されているかどうかを確認します。(ステップ・アップ・ガイドを参照してください)。</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使って PC カード・スロットへの電力供給を遮断してください。</p>

液晶ディスプレイ (LCD) の問題

問題	処置
画面が判読不能またはゆがんでいる。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされているか。<ol style="list-style-type: none">1. 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」まで移動してから「コントロール パネル」をクリックします。2. 「画面」をダブルクリックします。3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。 (Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプタとドライバの情報」ウィンドウが表示されます。ディスプレイ・ドライバー情報が正しいことを確認します。• 次の手順に従って、ディスプレイの解像度と色数に設定されているリフレッシュ速度値を確認してください。<ol style="list-style-type: none">1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。2. 「LCD」  をクリックします。3. 「ディスプレイ・プロパティ」をクリックします。4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。
画面に間違っただ文字が表示される。	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>インストールと構成が正しい場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
電源スイッチをオフにしても画面が消えない。	<p>電源スイッチを約 5 秒間押し続け、その後手を離して ThinkPad の電源をオフにします。再び電源をオンにします。</p>
ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上に見えないドットや、色の違うドット、または明るいドットが表示される。	<p>これは TFT テクノロジーの特徴です。ThinkPad のディスプレイは、多くの TFT (Thin-Film Transistor) を使用しています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少しですが存在していることがあります。</p>

問題	処置
画面に何も表示されていない。	画面のタイマーが正しく設定されているか確認します。

インジケーターの問題

問題	処置
バッテリー・パックが取り付けられているのに、バッテリー残量インジケーターがオフになっている。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いています。数時間待って、もう一度バッテリー・パックを使ってください。それでもインジケーターがオンにならない場合は、バッテリー・パックを交換するか、ThinkPad の修理を依頼してください。

バッテリーの問題

問題	処置
電源オフの状態でバッテリー・パックを 4 時間充電してもフル充電にならない。	バッテリー・パックが過放電状態になっている可能性があります。次の処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none">1. ThinkPad の電源をオフにします。2. 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。3. ThinkPad に AC アダプターを接続し、バッテリー・パックを充電します。 バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。
バッテリー残量インジケーターが空になる前に ThinkPad の電源が遮断される。 または バッテリー残量インジケーターが空を示した後も ThinkPad を操作できる。	バッテリー・パックの放電と充電を最低 3 回繰り返してください。
ThinkPad がフル充電したバッテリー・パックで動作しない。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源を 1 分間オフにしてこの機能をリセットしてから、もう一度電源をオンにしてください。
フル充電したバッテリー・パックの動作時間が短い。	バッテリー・パックを放電し、再充電します。問題が改善しない場合は、新しいバッテリー・パックを使ってください。

問題	処置
バッテリー・パックの充電ができない。	バッテリー・パックは、熱を持っているときは充電できない場合があります。その場合は、ThinkPad から取り出して、しばらく室温で冷まします。冷めたら、元どおり取り付けて、再充電します。それでも充電できない場合は、修理を依頼してください。

HDD の問題

問題	処置
オペレーティング・システムが起動しない。	<ul style="list-style-type: none">• BIOS セットアップ・ユーティリティをチェックし、HDD の設定値が正しく構成されているか確認します。• 設定値が正しくても、ThinkPad が起動しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。

赤外線通信の問題

問題	処置
ThinkPad が赤外線ポートを使って他の装置と通信することができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• IR 機能は使用可能になっていますか。• 通信速度は同じですか。• 赤外線ポートが汚れていませんか。• ThinkPad と通信先デバイスの間に障害物はありませんか。• ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は正しいですか。• 通信先のコンピューターの赤外線ポートは、ThinkPad と同一規格ですか。• 直射日光が当たる場所で操作していませんか。• 赤外線ポートが通信先ポートと直接向き合っていますか。 <p>通信は、ThinkPad のディスプレイからの光に影響されます。これを避けるため、ディスプレイを広角度に開いてください。</p> <p>ThinkPad と通信先デバイスとは、同じ通信アプリケーションを実行する必要があります。詳細については、アプリケーションの説明書を参照してください。</p>

問題	処置
ThinkPad と通信先デバイスとの間で誤ったデータが送信される。	<p data-bbox="465 150 752 171">次の項目を確認してください。</p> <ul data-bbox="480 194 1282 431" style="list-style-type: none"><li data-bbox="480 194 1115 216">• ThinkPad と通信先デバイス間の距離と角度は正しいですか。<li data-bbox="480 239 727 261">• 通信速度は同じですか。<li data-bbox="480 284 1282 343">• ThinkPad や通信先デバイスの近くにリモコン装置やワイヤレス・ヘッドホンなど、赤外線を出す装置がありませんか。<li data-bbox="480 366 943 388">• 直射日光が当たる場所で操作していませんか。<li data-bbox="480 411 1094 432">• ThinkPad や通信先デバイスの近くに蛍光灯がありませんか。

オーディオの問題

問題	処置
一般的な問題	<p>次の要因で、問題が起こる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">オーディオ・ケーブルの配線が、使用しているアプリケーションに適していない場合。オーディオ・ケーブルが損傷している場合。オーディオ機器が故障している場合。 <p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">オーディオ機能が使用可能になっているかどうか。消音 (ミュート) 機能がオフになっているかどうか。

汎用シリアル・バス (USB) の問題

問題	処置
USB コネクタに接続したデバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none">USB デバイスが正しく接続されていることを確認します。「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンし、USB デバイスの設定が正しく、ThinkPad のリソースの割り当てとデバイス・ドライバのインストールが正しく行われていることを確認します。 <p>注: 「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンするには、「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」まで移動してから「コントロール パネル」をクリックします。「システム」をダブルクリックしてから、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイス マネージャ」タブをクリックします。</p>

モデムの問題

注: モデムが装備されていないモデルもあります。

問題	処置
Windows 98 または Windows 95 以外のオペレーティング・システムを使って ThinkPad を起動すると、内蔵モデムが作動しない。	オペレーティング・システムがモデムと同じ IRQ レベルを共有している可能性があります。このような状況では、ThinkPad モデムのソフトウェアが作動しない場合があります。モデムを使用するには、IRQ の共有を取り消す必要があります。 IRQ 共有を取り消す方法  ステップ・アップ・ガイド

問題	処置
<p>モデムのアプリケーションが ThinkPad モデムで作動しない。</p>	<p>「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンして「モデム ウィザード」を実行するか、次の手順に従って「ThinkPad 機能設定」プログラムを起動し、内蔵モデムが使用可能になっていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを起動します。 2. 「内蔵モデム」  をクリックします。 3. 「使用可能」を選択します。 4. 「OK」をクリックします。 <p>Windows 98 および Windows 95 の場合:</p> <p>モデムが正しく動作しない場合は、ステップ・アップ・ガイドを参照して、リソースの競合を解決してください。モデムが正しく作動する場合は、次の手順に従って、モデムを次のように設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「マイ コンピュータ」、「コントロール パネル」、「モデム」の順にダブルクリックします。 Lucent Win Modem が強調表示されます。 2. 「ダイヤルのプロパティ」ではなく、「プロパティ」をクリックします。 3. 「接続」タブをクリックします。 4. 「トーンを待ってからダイヤルする」のボックスにチェック・マーク (✓) が付いたら、クリックしてそれを消去します。 5. 「詳細」をクリックします。 6. 「エラー制御を使う」のボックスにチェック・マーク (✓) が付いていたら、クリックしてそれを取ります。 7. 「フロー制御を使う」のボックスをクリックしてチェック・マーク (✓) を追加し、「ハードウェア (RTS/CTS)」が選択されていることを確認します。 8. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。 9. 「OK」をクリックして「モデムのプロパティ」のウィンドウに戻ります。 10. 「モデムのプロパティ」のウィンドウの「ダイヤルのプロパティ」をクリックし、すべてのボックスに必要な事項を入力し、「トーン」か「パルス」のいずれかをクリックします。 11. 「OK」をクリックします。 12. 「閉じる」をクリックして、ウィンドウをクローズします。 13. オープンしているすべてのウィンドウをクローズします。 <p>モデムのアプリケーションを再度実行してください。</p>

PC カードの問題

問題	処置
PC カードが「使用可」と表示されるが、正しく作動しない。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• PC カード用に確保されたシステム・リソースが、他のシステム装置と競合していませんか。• ステップ・アップ・ガイドの「システム・リソースの競合の回避」を参照してください。• PC カード用に確保されたリソースの設定が、アプリケーション・プログラムでの設定と一致していますか。• ネットワーク・カードを使用している場合は、I/O ポート・アドレス、IRQ レベル、およびメモリー・ウィンドウ・アドレスを確認してください。
PC カード使用時に、システム・リソースの競合が起こる。	ステップ・アップ・ガイドの「システム・リソースの競合の回避」を参照してください。
PC カードからシステムを始動できない。	PC カード用に正しいシステム・リソースが使用されていることを確認してください。
システムが PC カードを認識しない。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• PC カードがモデム・カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのいずれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバが必要です。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。• PC カードは、PCMCIA リリース 2.0、2.01、および 2.10 をサポートします。PC カードに付属の説明書を参照してください。お使いの PC カードが上記の PCMCIA のリリースをサポートしていない場合、ThinkPad ではそのカードを使用できません。• PC カードに診断テストが付属している場合は、それを実行して作動するかどうかを調べてください。
システムが PC カードを認識せず、「使用不可」または「構成不可」のメッセージが表示される。	次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• PC カードがモデム・カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのいずれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバが必要です。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。• PC カードに対するリソースが正しく確保されていますか。ステップ・アップ・ガイドの「システム・リソースの競合の回避」を参照してください。

プリンターの問題

問題	処置
プリンターが作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• パラレル・ポートが使用可能になっていますか。<ol style="list-style-type: none">1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。2. 「パラレル・ポート」  をクリックします。3. 「使用可能」を選択します。4. 「OK」をクリックします。• プリンターの電源が入っていて、印刷可能になっていますか。• プリンターの信号ケーブルが ThinkPad の正しいコネクタに接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、プリンターが作動しない場合は、プリンターの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストでプリンターの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

外付けディスプレイの問題

問題	処置
<p>外付けディスプレイに何も表示されない。</p>	<p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外付けディスプレイを他のパソコンに接続し、作動するかどうかを確認します。 2. 外付けディスプレイを、ご使用の ThinkPad にもう一度接続します。 3. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 4. 「ThinkPad 機能設定」プログラムのツールバー上の「CRT ディスプレイ単独」  または「LCD と CRT ディスプレイ両方」  をクリックします。 <p>外付けディスプレイに何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされているか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」まで移動してから「コントロールパネル」をクリックします。 2. 「画面」をダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。 <p>(Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプタとドライバの情報」ウィンドウが表示されます。ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認します。</p> <p>ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> • 適切なモニター・タイプまたはリフレッシュ・レートが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「LCD」  をクリックします。 3. 「ディスプレイ・プロパティ」をクリックします。 4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。 5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。

問題	処置
<p>画面が判読不能またはゆがんでいる。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされているか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」まで移動してから「コントロールパネル」をクリックします。 2. 「画面」をダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. (Windows 98 の場合)「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。 <p>(Windows 95 の場合)「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプタとドライバの情報」ウィンドウが表示されます。ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認します。</p> <p>ThinkPad のディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> • モニター・タイプとリフレッシュ・レートが正しく設定されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「LCD」  をクリックします。 3. 「ディスプレイ・プロパティ」をクリックします。 4. 「画面のプロパティ」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。 5. 「OK」をクリックしてウィンドウをクローズします。 <p>設定が正しい場合は、外付けディスプレイの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストで外付けディスプレイの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に間違っただ文字が表示される。</p>	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>正しくインストールされている場合は、外付けディスプレイの修理を依頼してください。</p>

その他のオプションの問題

問題	処置
<p>取り付けただけの IBM 製オプションが作動しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションは ThinkPad 用に設計されたものですか。 • オプションが、オプションに付属の説明書または本書に従って正しく取り付けられていますか。 • 取り付けられている他のオプションやケーブル類がしっかりと接続されていますか。 • I/O アドレス、割り込み (IRQ) レベル、DMA チャンネルの設定に競合はありませんか。システム・リソースの状況を確認するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動して、各装置のアイコンをクリックしてください。 <p>オプションのテスト・プログラムで問題が検出されなかった場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
<p>今まで動いていた IBM 製オプションが作動しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションが ThinkPad にしっかりと接続されていますか。 • オプションにテスト・プログラムが付属していれば、その指示に従ってオプションをテストしてください。 • システム・リソースの競合がありませんか (ステップ・アップ・ガイドの「システム・リソースの競合の回避」を参照)。 <p>上記の項目に問題がなく、テスト・プログラムでも問題が検出されない場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
<p>シリアル・ポートが作動しない。</p>	<p>次の手順に従って、シリアル・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <p>Windows 98 および Windows 95 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」  をクリックします。 3. 「使用可能」を選択します。 4. 「デバイス・プロパティ」をクリックします。 5. 「デバイス マネージャ」ウィンドウでポート番号を設定します。 6. 「OK」をクリックします。

ソフトウェアの問題

問題	処置
アプリケーション・プログラムが正しく作動しない。	<p>問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• そのアプリケーションを使用するために最低限必要のメモリーが ThinkPad にありますか。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。• そのアプリケーションがオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。• 問題のアプリケーション以外は、ThinkPad で正しく実行されますか。• 必要なデバイス・ドライバーがインストールされていますか。 ➡ ステップ・アップ・ガイド• 問題のアプリケーションは、別のパソコンで正しく作動しますか。 <p>アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。上記の項目に問題がないにもかかわらず、問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムのお買い上げ店または発売元にご連絡ください。</p>

その他の問題

問題	処置
ThinkPad がハングアップした、またはどんな入力もまったく受け付けない。	<ul style="list-style-type: none"> • 通信操作をしているときにサスペンド・モードに入ると、ThinkPad がハングアップすることがあります。ネットワークに接続されているときは、サスペンド・タイマーを使用不可にしてください。 • 電源スイッチを約 5 秒間押し続け、その後手を離して ThinkPad の電源をオフにします。
電源スイッチをオフにしても ThinkPad の電源がオフにならない。	<p>バッテリー電源を使っている、サスペンド・インジケータがオンになっている場合は、バッテリーをフル充電されたものに交換するか、AC アダプターを接続してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合には、電源スイッチを 5 秒間押し続けた後離し、ThinkPad の電源をオフにします。ThinkPad を再起動します。</p>
ThinkPad をディスクレットから始動できない。	<p>ThinkPad がディスクレット・ドライブから起動できるよう、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」で始動優先順位が設定されているか確認してください (29ページの『Startup』を参照)。</p>
高温な環境では、ThinkPad のパフォーマンスが低下する。	<p>次の場合、プロセッサ速度が低下することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用する環境温度が高いとき。 • 高電力消費を必要とする高電力処理を実行するとき。 <p>これは故障ではありません。</p>
メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> • DOS を使用している場合: <ol style="list-style-type: none"> 1. DOS コマンドの MEM /C を使って、DOS のメモリー使用状況を定期的に調べます。 2. CONFIG.SYS ファイルから不必要なドライバーを削除します (たとえば、プリンターを使用していない場合は、プリンター・ドライバーを削除します)。 3. DEVICEHIGH 構文を使って、UMB (上位メモリー・ブロック) を再構成します。 4. DOS に対する複数構成セットアップを使用します (DOS に付属の説明書を参照)。

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

ここでは、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法について説明します。次の表に、システムを回復するための必要事項を示します。

問題	必要なツール	詳細情報
Windows 98、Windows 95 および Windows NT		
削除されたデバイス・ドライバーまたは損傷したデバイス・ドライバーを回復したい。	導入済みアプリケーション CD を使用します。	ステップ・アップ・ガイドの「ソフトウェアのインストール」
削除されたソフトウェア・アプリケーションまたは損傷したソフトウェア・アプリケーションを回復 (再インストール) したい。	導入済みアプリケーション CD を使用します。	34ページの『導入済みアプリケーション CD の使用』を参照してください。
ハード・ディスク・ドライブを購入時の状態に戻したい。	リカバリー CD を使用します。	35ページの『Product Recovery CD-ROM の使用』を参照してください。

準備

ご自分で問題を解決できなかった場合は、IBM 特約店または IBM 営業担当員にご連絡ください。

修理サービスを依頼されるときは、次の情報が必要です。

- ThinkPad の ID 番号
- システムに取り付けられているオプション

注: 110ページの『オプション・リスト』の記録用紙を使ってください。

- エラー・メッセージまたは問題の内容

注: エラー・メッセージが分かっていると、サービス技術員はこのメッセージから必要な処置を判断し、迅速かつ効率的に問題に対処できます。

111ページの『問題記録用紙』の記録用紙を使ってください。

重要

保証期間中であっても、故障の原因がお客様による製品の誤用、事故、変更、不適切な物理環境または操作環境でのご使用、不適切なメンテナンスである場合、修理にかかる費用をご負担いただくこととなります。

修理サービス先の電話番号をここに書き留めておくとう便利です。

お使いの ThinkPad に関する情報

オプション・リスト

- SoDIMM ____MB
- ____GB ハード・ディスク・ドライブ
- 外付けディスク・ドライブ
- PC カード

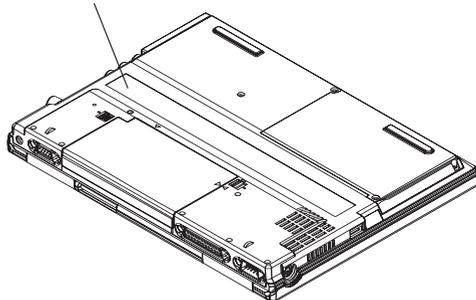
- バッテリー・パック
 - 標準
 - 大容量

ID 番号の記録

製造番号のラベルは、ThinkPad 本体の底面にあります。機種名と製造番号 (S/N) を次の欄に記録してください。

IBM 製品名	ThinkPad 240
機種	2609-_____
製造番号	_____

製造番号ラベル



問題記録用紙

- ThinkPad の情報:

機種: _____

製造番号: _____

購入日: ____/____/____

- 問題のタイプ:

継続する問題

一時的な問題

- エラー・コード:

- オペレーティング・システムとバージョン番号 (ご存じの場合):

Windows 98 バージョン _____

Windows 95 バージョン _____

Windows NT バージョン _____

- 問題発生時に実行していたアプリケーション・プログラム:

- 問題の症状:

問題の内容を具体的に記載してください。

- 問題を再現できましたか?

はい

いいえ

「はい」の場合、どのようにして再現しましたか?

カスタマー・サポートおよびサービス

IBM PC ハードウェア製品をお買い上げいただいた場合、保証期間中は、修理サービスを受けることができます。さらにサポートおよびサービスが必要な場合は、多くのご要望に対応できる、各種の問題解決策を有償で提供しています。詳しくは同梱の「IBM サービスのご案内」と書かれた小冊子をお読みください。

ここでは、ThinkPad の機構と仕様について説明します。

機構

プロセッサ

Intel® Celeron™ プロセッサ

メモリー

標準装備: 32 または 64 MB

オプション: 最大 160MB または 192 MB

ストレージ・デバイス

2.5 インチのハード・ディスク・ドライブ

ディスプレイ

TFT テクノロジー使用のカラー・ディスプレイ

液晶ディスプレイで 800x600 の解像度

外付けディスプレイで最大 1024x768 までの解像度

輝度調節

キーボード

83 キー (**Fn** キーを含む)

トラックポイント

Fn キー機能

外部インターフェース

汎用シリアル・バス (USB) コネクタ

モデム・ポート

マイクロホン・ジャック

ヘッドホン・ジャック
ステレオ・ライン入力ジャック
外付け FDD コネクタ
外付けディスプレイ・コネクタ
シリアル・コネクタ (EIA-RS232D)
パラレル・コネクタ EPP & ECP
PS/2 マウス / キーボード・ポート
PC カード・スロット (タイプ II PC カード 1 枚)
赤外線ポート

仕様

寸法

- 幅: 260 mm
- 奥行き: 202 mm
- 高さ: 26.6 mm

環境

温度 (高度 2,438 m 以下):

- ディスケットが入っていない場合の動作時: 5° ~ 35°C
- ディスケットが入っている場合の動作時: 10° ~ 35°C
- 非動作時: -20°C ~ 60°C

注: バッテリー・パックを充電する場合、温度は最低 10°C なければなりません。

相対湿度:

- ドライブにディスクが入っていない場合の動作時: 8% ~ 95%
- ドライブにディスクが入っている場合の動作時: 8% ~ 80%
- 非動作時: 5% ~ 95%

最大高度: 圧力を受けない状態で 3,048 m

- 2438m から 3048 m での動作時の最大環境温度: 31.3°C

電源 (AC アダプター)

50 ~ 60 Hz での正弦波入力が必要。

AC アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50/60 Hz

リチウム・イオン・バッテリー・パック

公称電圧: 11.1 V dc

容量: 15 VA

容量: 1.4 AH

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM
MMPM/2
Multimedia Presentation Manager/2
PC Card Director
PS/2
RediSafe

ThinkPad
TrackPoint IV

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows 98、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Celeron™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

西暦 2000 年対応および説明

製品の西暦 2000 年対応 (Year 2000 Ready) とは、その製品を関連資料にしたがって使用した場合に、20 世紀から 21 世紀にわたる日付データの処理、引き渡し、または受け取りが正しく行われることをいいます。ただし、その製品とともに使用されるすべての製品 (例えば、ハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェア) が正確な日付データをその製品と正しく交換できることが条件となります。

この IBM 製のパーソナル・コンピューターは、西暦 2000 年対応の製品です。ただし、西暦 2000 年になる時に、このコンピューターの電源が立ち上がっている場合、一度電源を落とし、再度立ち上げするか、オペレーティング・システムを再起動してください。これにより、このコンピューターの内部クロックがリセットされます。

なお、お客様が、西暦 2000 年対応でないソフトウェアを使用される場合、または、処理するデータが西暦 2000 年対応でない場合には、この IBM パーソナル・コンピューターは、正しく日付データを処理することはできません。なお、この製品の西暦 2000 年対応状況についてのご説明は、ハードウェア製品のみにも適用されるものであり、ハードウェアとともに提供されるソフトウェアの対応状況を示すものではありません。IBM は、他社製ソフトウェアの日付処理について責任を負いません。他社製ソフトウェアの日付処理、その制約または更新版については、他社製ソフトウェアの提供元にお問い合わせください。

西暦 2000 年の概要および IBM 製のパーソナル・コンピューターの 2000 年対応状況については、IBM Year 2000 Web サイト(<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) でご覧いただくことができます。お客様の西暦2000年対応作業をご支援するための情報およびツールが含まれており、情報は必要に応じ更新されます。

この用語集には、*IBM Dictionary of Computing* (New York: McGraw-Hill, 1994)からの用語と定義を翻訳したものを掲載しています。

ア

アイコン (icon). 画面に表示される図形記号。トラックポイントやマウスなどのポインティング・デバイスでアイコンを指し示すことで、特定の機能やアプリケーションを選択、実行することができる。

アプリケーション・プログラム (application program).

ThinkPad 上でワード・プロセッシングやスプレッドシートの作成など特定のタスクを実行するプログラム。

カ

画素 (picture element). コンピューター・グラフィックスでのディスプレイ表面の最小要素。個別に色および輝度を割り当てることができる。

キャッシュ・メモリー (cache memory). メイン・メモリーよりも小型で処理速度が速い特殊メモリー。プロセッサが次に要求しそうなメイン・メモリー内の命令やデータのコピーなどを一時的に保管しておくメモリー。

キロバイト (kilobyte (KB)). 1024 バイト。

組み合わせキー (combination keys). 同時に複数のキーを押すことにより、特定の機能を実行するキーの組み合わせ。

高解像度モード (high-resolution mode). 640 x 480 ドットの解像度を上回るビデオ解像度。

構成 (configuration). (1) 情報処理システムのハードウェアまたはソフトウェアの、編成または相互接続方法。(2) データ処理システムを構成する装置およびプログラムの物理的/論理的配置。(3) システム、サブシステムまたはネットワークを構成する装置やプログラム。

サ

再起動、ブート (boot). オペレーティング・システムをロードして、コンピューター・システムが作動する準備を行うこと。

サスペンド (suspend). 電力消費を減らすために、ThinkPad のすべての操作を停止すること。

省電力モード (power mode). ThinkPad は、最大パフォーマンス、最大バッテリー寿命、およびカスタマイズの、3 種類のバッテリー駆動方式をもつ。

シリアル・ポート (serial port). 表示装置、プリンター、モデム、プロッターや、ライト・ペンおよびマウスなどのポインティング・デバイスを接続するためのポート。データを 1 回に 1 ビットずつ送信する。

垂直方向拡大機能 (vertical expansion). 文字表示モードでのビデオ表示技法で、垂直方向の文字ドット数を調節することによって、ビデオ・イメージを LCD 画面全体に合わせる方式。

スタンバイ・モード (standby mode). サスペンド・モードの一種で、システム構成要素の一部のみで電力が消費される。

タ

ダブルクリック (double-click). 選択対象からポインターを離さずに、ユーザーが定義した時間の間隔内で、マウスのボタンを 2 回押して離す動作。

ディレクトリー (directory). 他のファイルやディレクトリーの名前および制御情報が登録されているファイルの一種。

デバイス・ドライバ (device driver). (1) デバイス (入出力装置) を接続して使用するために必要なコードが入っているファイル。オペレーティング・システムは表示画面用デバイス・ドライバをロードする。(2) コンピューターが特定の周辺機器、たとえば、プリンター、ビデオ・ディスク・プレーヤー、CD ドライブなどと通信できるようにするプログラム。(3) 入出力装置とプロセッサ間のインターフェースを制御するサブルーチンの集合。

電源管理機能 APM (Advanced Power Management). コンピューターのハードウェア機能を利用して省電力を実現するためのソフトウェア。アプリケーション、オペレーティング・システム、デバイ

ス・ドライバーおよび APM BIOS が APM ソフトウェア・インターフェースにより共同作業し、システム・パフォーマンスを落とさずに電力消費を小さくすることが可能となる。

八

ハード・ディスク (**fixed disk**). パーソナル・コンピューター環境での固定ディスクは、ハード・ディスクのことを指す。

ハイバネーション・モード (**hibernation mode**). ThinkPad の省電力機能の 1 つ。ThinkPad のメモリーで現在実行されているデータやアプリケーションをハード・ディスク上に保管する機能。ハイバネーションに入ると、電力を節約するために電源を自動的にオフにする。再び電源をオンにすると、オペレーティング・システムを再起動せずに、ハイバネーションに入ったときと同じデータとアプリケーションをただちにメモリー上に復元する。

バス (**bus**). 2 つの終端の間にある複数の装置間でデータを転送するための機能。それぞれの時点で、1 つの装置のみが送信を行うことができる。

パスワード (**password**). コンピューターの不正使用を規制するために指定する一連の文字または数字。

バックアップ・コピー (**backup copy**). 通常、ファイルまたはファイル・グループの複写を指す。元のファイルが不注意で変更されたり破壊されたりした場合に備えて保管される。

バッチ (**batch**). 操作員の介入をほとんど、または全く必要としないプログラムまたはプログラム・レコードの処理方式。

バッテリー・メーター (**fuel gauge**). バッテリー・パックの現在の電力残量を常時画面上に表示するインジケーター。

パラレル・ポート (**parallel port**). 通常、プリンターや入出力装置などを接続するためのポート。データを 1 回に 1 バイトずつ送信する。

パリティ検査 (**parity check**). 再検査されたパリティ・ビットが事前指定されたパリティ・ビットと比較される、冗長検査。

ピクセル (**pixel**). 画素。

ビットマップ・グラフィックス (**bitmap graphics**). (1) ディスプレイ上のすべての点を直接アドレス指定することのできるグラフィックス形式。(2) マルチメディア・アプリケーションにおいて、イメージとして表示可能なコンピューターのメモリーや記憶装置中にあるグラフィックス形式。

ファックス (**fax**). (1) ファクシミリ機器。(2) ファクシミリ機器によって送信された文書。

フォルダー (**folder**). 文書を保存して編成するために使用されるファイル。

部分的サスペンド・モード (**partial suspend mode**). サスペンド・モードの一種で、システム構成要素の一部分のみで電力が消費される。

フラッシュ・メモリー (**Flash memory**). 電氣的に再書き込み可能な記憶装置。

プルダウン・メニュー (**pull-down menu**). 特定のポイントやラインまたは画面最上部の近くから画面下方に表示されるメニュー。

プロンプト (**prompt**). プログラムがユーザーに何らかの応答を要求する場合に送付する、可視メッセージまたは可聴メッセージ。

ベイ (**bay**). デバイス・モジュールをインストールするための ThinkPad 240 コンパートメント。

ペル (**pel**). 画素。

ポインティング・デバイス (**pointing device**). 画面上でポインターを移動させるために使用するマウス、トラックポイント、ジョイスティックなどの装置。

ポップアップ・メニュー (**pop-up menu**). ディスプレイ画面上の特定のポイントに表示されるウィンドウ、またはメニュー。

マ

マイクロコード (**microcode**). 製品の中で使用される 1 つまたは複数のマイクロ命令の集合。プロセッサやその他のシステム構成要素の機能を実行するために、配線回路の代わりに使用される。

メガバイト (**megabyte (MB)**). 1024 キロバイト。約 100 万バイト。

メモリー (**memory**). 一般には、ランダム・アクセス・メモリー (RAM) のことを指し、キロバイト (KB) またはメガバイト (MB) などの情報単位で容量が示される。

モデム (**modem**). コンピューターを電話回線に接続して、別の場所にあるコンピューターと通信できるようにする装置。

ラ

リブート (**reboot**). ThinkPad を再起動すること。電源オンと同じ効果がある。

レジューム (**resume**). 待機モードから再び ThinkPad が通常の操作状態に戻ることに。

A

ac (**AC**). 交流。

AC 電源 (**ac power**). 電源コンセントから ThinkPad に供給される電力。

ANSI (**American National Standards Institute**). 米国規格協会。

APM. 電源管理機能 (Advanced Power Management (APM))

ASCII (**American National Standard Code for Information Interchange**). 情報交換用米国標準コード。

ATA PC カード (**ATA PC Card**). 記憶装置 PC カードなどの、AT アタッチメント・ハード・ディスク・ドライブ・インターフェースを備えた PC カード。

AUTOEXEC.BAT. DOS の始動プロシージャーが入っているファイル。ThinkPad が起動されるたびに、DOS はこのファイルに保存されている一連のコマンドを実行する。

B

BIOS (**Basic Input/Output System**) (基本入出力システム). ディスケット・ドライブ、ハード・ディスク・ドライブおよびキーボードとの対話のような基本ハードウェア動作を制御するマイクロコード。

bps. 1秒あたりのビット数。シリアル送信では、装置やチャネルが文字を送信する、ある瞬間のビット速度。

C

CD. コンパクト・ディスク。

CD-I (**Compact disc-interactive**). 対話式コンパクト・ディスク。

CD-ROM. コンパクト・ディスク (CD) 読み取り専用メモリー (ROM)。

CONFIG.SYS. ファイルの一種であり、デバイス・ドライバをロードしたり、情報処理用にシステム・メモリーのスペースを確保したりする一連のコマンドが入っている。このファイルは、システム始動時に DOS によって参照、実行される。

CRT. 陰極線管ディスプレイ。

D

DMA (**Direct memory access**). ダイレクト・メモリー・アクセス。プロセッサの介入なしで行われるメモリーと入出力装置間のデータ転送。

DRAM (**dynamic Random Access Memory**). 動的ランダム・アクセス・メモリー。

E

ECP (**Extended Capability Port**). 拡張機能ポート。

EDO DRAM (**Extended data output dynamic random access memory**).

EGA (**Enhanced graphics adapter**). 拡張グラフィックス・アダプター。

EIA (**Electronics Industries Association**). 米国電子工業会。

EIA-232D. EIA インターフェース規格。通信装置とそれに対するワークステーションを接続するインターフェース回線の物理的特性、電子的特性および機能特性を定義している。25ピン・コネクタと不平衡回線電圧が使用される。

EMS (**Expanded memory specification**). 拡張 (EMS) メモリー。

F

FAQ (Frequently asked questions). よく聞かれる質問。

FDD. フロッピー・ディスク・ドライブ。

H

HDD. ハード・ディスク・ドライブ。

HHR (Half-horizontal resolution). 半水平解像度。

HPA (High performance addressing). ハイパフォーマンス・アドレッシング。

I

IDE (Integrated device electronics). 統合装置エレクトロニクス。

IR (Infrared). 赤外線。

IRQ. 割り込み要求。

ISA (Industry standard architecture). 業界標準アーキテクチャー。

ISO (International Organization for Standardization). 国際標準化機構。

J

JEIDA (Japan Electronics Industry Development Association). 日本電子工業開発協会。

L

LAN (Local area network). ローカル・エリア・ネットワーク。

LCD. 液晶ディスプレイ。

LPT1 または **LPT2.** アドレスを指定するためにパラレル・ポートに割り当てることができる名前。パラレル・ポートも参照。

M

mAh. ミリアンペア/時。

MCI (Media Control Interface). メディア制御インターフェース。

MHz (Megahertz). メガヘルツ。

MIDI (Musical Instrument Digital Interface). 楽器デジタル・インターフェース。

P

PC カード (PC Card). PCMCIA 規格に準拠しているカード。

PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association). パーソナル・コンピューター・メモリー・カード国際協会。

POST (Power-on self-test). 始動時自己診断テスト。

PSTN (Public-switched telephone network). 公衆交換電話網。

R

ROM (Read-only memory). 読み出し専用メモリー。

S

SDRAM (Synchronous Dynamic Random Access Memory).

SoDIMM. 拡張メモリーの一種。

SVGA (Super Video Graphics Adapter). スーパー・ビデオ・グラフィックス・アダプター。最大 1024x768 ドットまでの解像度の画像を生成するビデオ・モード。

T

TFT (Thin-film transistor). 薄膜フィルム・トランジスター。

TSRs (Terminate-and-stay-resident programs). 常駐プログラム。メモリーにロードされ、常時アクセスできるようにメモリー内にとどまるメモリー常駐プログラム。

U

USB (Universal serial bus). 汎用シリアル・バス。

V

VESA (Video Electronics Standards Association). ビデオ電子規格協会。

VGA (Video graphics adapter). ビデオ・グラフィックス・アダプター。最大 640x480 ドットまでの解像度の画像を生成するビデオ・モード。

VSYNC (Vertical synchronization frequency). 垂直同期波。

X

XMS (Extended memory specification). 拡張メモリー。

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

安全に正しくお使いいただくために vii
 インジケータの位置 2
 液晶ディスプレイ
 ラッチの位置 2
 エラー・コード 84
 エラー・メッセージ 84
 オーディオの問題 98
 オプション
 メモリー、増設 47
 オプション・リスト
 温度、機械の仕様 114

〔カ行〕

管理と保守 39
 キーの組み合わせ 13
 キーボード、仕様 113
 機構 113
 キャップス・ロック 8

〔サ行〕

サービス
 入手方法 112
 サービス体制 112
 サスペンド・モード、位置 3, 5
 サスペンド・ランプ 3
 システム設定情報の一時保存 35
 システム設定情報の復元 36
 システムのバックアップ 34
 始動順序、変更 29
 始動パスワード 68
 修理サービス 112
 仕様 113, 114
 温度 114

仕様 (続き)

環境 114
 寸法 114
 電源コード
 入力電圧 115
 状況インジケータ 7
 状況インジケータの位置 2
 シリアル・コネクタ、位置 5
 シリアル・ポート、設定 77
 スーパーバイザー・パスワード 68
 数値キーボード、使用法 16
 スクロール・ロック 8
 スピーカー、位置 3
 制限事項 82
 製品 113
 赤外線通信の問題 96
 赤外線ポート
 位置 3
 設定 76
 セキュリティー機能
 セキュリティー・システム・ロック 72
 パスワード 68
 セキュリティー・キーホール、位置 5
 セキュリティー・システム・ロック 72
 外付け FDD ドライブ
 接続 57
 外付けキーボード
 接続 53
 外付けディスク・ドライブ・コネクタ、位置 4
 外付けディスプレイ
 位置 5
 接続 59
 設定 79
 問題 103
 外付けマウス
 接続 53
 ソフトウェアの問題 106

〔タ行〕

- ディスプレイ 113
 - 表示先の変更 61
 - モード 62
- 電源ジャック、位置 5
- 電源スイッチ 8
 - 位置 3
- 導入済みアプリケーション 34
 - 使用 35
- トラックポイント 10
 - 位置 3
 - カスタマイズ 44
 - キャップの交換 12
 - 使用不可 56
 - 使い方のヒント 11
 - 使う 10
 - 動作 46
 - プレス・セレクト 45
- トラックポイント、設定 78

〔ナ行〕

- 内蔵マイクロホン、位置 3
- ナム・ロック 8
- 入力装置の問題 88

〔ハ行〕

- ハードウェア仕様 114
- ハードディスク
 - 内容の回復 35
- ハード・ディスク・ドライブ
 - 位置 3, 6
- ハード・ディスク・パスワード 68
- ハイパネーション・モード
 - 問題 90
- パスワード
 - 消去 71
 - 設定 70
 - タイプ 68
 - 使う 68
 - 入力 69
 - 変更 71

- バックアップ 34
- バッテリー状況 8
 - 位置 5
- バッテリーの寿命を長持ちさせる 41
- バッテリーの問題 94
- バッテリー・バック
 - 位置 5
 - 交換 37
 - 寿命を長持ちさせる 41
 - バッテリーの寿命を最大限にする 81
 - ラッチの位置 6
 - ロックの位置 6
- パラレル・コネクタ
 - 位置 5
- ヒント 82
- ファンクション・キー 13
- 復元、システム設定情報の 36
- プリンターの接続 64
- プリンターの問題 102
- プレス・セレクト 45
- ヘッドホン・ジャックの位置 4
- 変更、始動順序の 29
- 保護、データの 35

〔マ行〕

- マイクロホン・ジャック、位置 4
- メモリー 47
 - 仕様 113
- モデム、位置 5
- モデムの問題 99
- 問題、記録 111
- 問題判別
 - インジケーターの問題 94
 - エラー・コード 84
 - エラー・コードなし 87
 - エラー・メッセージ 84
 - エラー・メッセージなし 87
 - オーディオの問題 98
 - ガイド 82
 - サスペンドの問題 90
 - 赤外線通信の問題 96
 - 外付けディスプレイの問題 103
 - その他のオプションの問題 105
 - その他の問題 107

問題判別 (続き)

- ソフトウェアの問題 106
- 入力装置の問題 88
- ハイパネーションの問題 90
- バッテリーの問題 94
- 表 83
- プリンターの問題 102
- モデムの問題 99
- HDD の問題 96
- LCD の問題 92
- PC カードの問題 101
- USB の問題 98

〔ヤ行〕

- よく聞かれる質問とその答え 74

〔ラ行〕

- ライン入カジャック 4
- リカバリー CD、使用 35
- リセット・スイッチ
- 位置 6
- ロック 72

B

- BIOS セットアップ・ユーティリティ 19
- 始動 20
- 終了 31
- Advanced Setup サブメニュー 21
- Config サブメニュー 21
- Date/Time サブメニュー 27
- Password サブメニュー 28
- Restart サブメニュー 31
- Startup サブメニュー 29

C

- ConfigSafe 35

F

- Fn キー
- 位置 3
- キー・ロック 14
- Fn キー機能 13

I

- ID 番号 110

L

- LCD
- 表示先の切り換え 61
- 表示モード 62
- 問題 92

P

- PC カード
- 問題 101
- PC カードの取り外し 66
- PC カードの取り付け 65
- PC カード・イジェクト・ボタン、位置 4
- PC カード・スロット、位置 4

T

- ThinkPad 機能設定プログラム 32
- ThinkPad のお手入れ 41
- ThinkPad の携帯 41
- ThinkPad の取り扱い 39
- ThinkPad Web サイト 36

U

- USB (汎用シリアル・バス)
- 位置 2
- 問題 98

W

- Web サイト 36



部品番号: 46L2875

Printed in Japan

